

平成 26 年度

沖縄美ら海水族館年報

第 11 号



ANNUAL REPORT OF OKINAWA CHURAUMI AQUARIUM

No.11 April 2014 – March 2015

目次

I	名称・所在地・営業資料.....	2
II	沿革.....	2
III	管理・運営.....	3
	(1) 組織.....	3
	(2) 入館者数.....	4
	(3) 業務入館.....	4
	(4) 取材状況.....	5
	(5) 主な活動、出来事.....	8
	(6) 主な長期飼育動物・繁殖動物.....	13
	(7) 学会発表、講演等.....	14
IV	業務報告.....	16
	(1) 調査研究活動.....	16
	(2) 教育普及活動.....	28
V	付属資料.....	39
	(1) 飼育生物一覧（H26.12.31 現在）.....	39
	(2) 取水海水温.....	49
	(3) 水槽規格.....	50

表紙写真 ノコギリザメ *Pristiophorus japonicas* (撮影：高岡博子)

裏表紙写真 ヒメダイ *Pristipomoides sieboldii* (撮影：躍場秀兵)

I 名称・所在地・営業資料

名称 沖縄美ら海水族館
 所在地 〒905-0206 沖縄県国頭郡本部町字石川 424
 (国営沖縄記念公園海洋博覧会地区内)
 電話：0980-48-3748 FAX：0980-48-4444 (代表)
 HP：http://oki-churaumi.jp
 開館時間 通常期 (10月 - 2月) 08:30 - 18:30 (入館締切 17:30)
 夏期 (3月 - 9月) 08:30 - 20:00 (入館締切 19:00)
 休館日 12月の第1水曜日とその翌日
 入館料金

	入館時間			年間パスポート
	8:30 - 16:00 (通常料金)		16:00 - 入館締切 (4時からチケット)	
	一般	団体 (20名以上)		
大人	1,850円	1,480円	1,290円	3,700円
中人 (高校生)	1,230円	980円	860円	2,460円
小人 (小・中学生)	610円	490円	430円	1,220円
6歳未満	無料			—

II 沿革

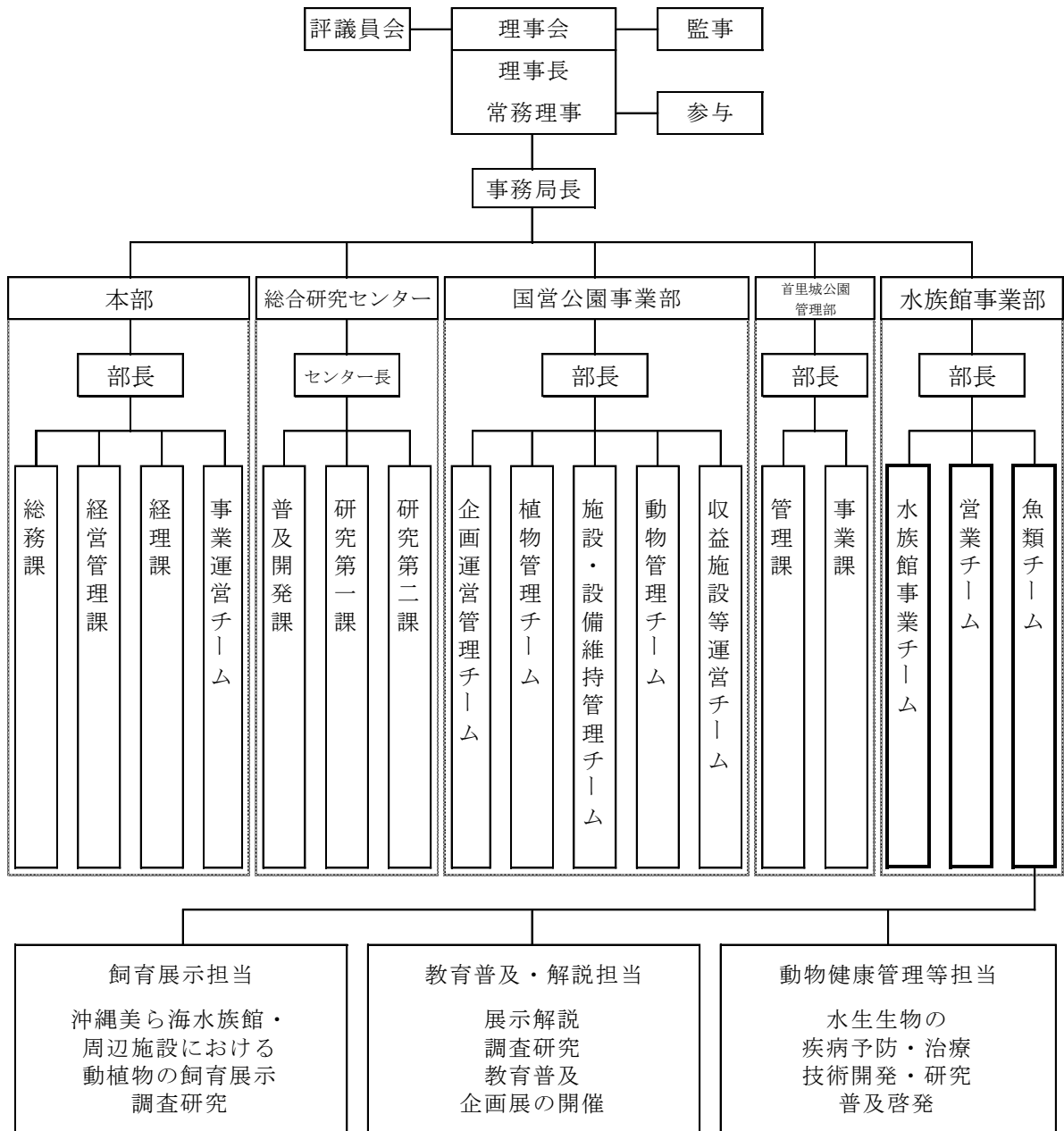
昭和 63年度 海洋性大規模集客施設整備構想
 平成 元年度 海洋性大規模集客施設基本計画策定
 平成 6年度 新水族館基本設計 着手
 平成 7年度 新水族館実施設計 新水族館工事用道路工事 着手
 平成 8年度 新水族館基盤整備工事 着手

平成 14年11月 1日 新水族館開館、愛称を「沖縄美ら海水族館」とする
 平成 15年 2月28日 入館者 100万人達成
 平成 15年 3月25日 沖縄美ら海水族館博物館登録
 平成 15年 7月26日 入館者 200万人達成
 平成 15年12月 6日 入館者 300万人達成
 平成 16年 5月 4日 入館者 400万人達成
 平成 16年10月24日 入館者 500万人達成
 平成 18年11月11日 入館者 1,000万人達成
 平成 20年 7月23日 入館者 1,500万人達成
 平成 22年 3月30日 入館者 2,000万人達成
 平成 24年 2月 3日 入館者 2,500万人達成
 平成 25年10月23日 入館者 3,000万人達成
 平成 27年 5月22日 入館者 3,500万人達成

III 管理・運営

(1) 組織

一般財団法人 沖縄美ら島財団 組織図
並びに 沖縄美ら海水族館 飼育・展示関係業務所掌



平成 26 年 4 月 1 日現在

(2) 入館者数

月	有料	無料	合計
4	238,776	24,821	263,597
5	226,497	31,381	257,878
6	212,866	22,201	235,067
7	251,958	29,491	281,449
8	310,541	29,800	340,341
9	258,938	26,460	285,398

月	有料	無料	合計
10	243,164	22,347	265,511
11	245,067	20,876	265,943
12	228,996	19,166	248,162
1	223,365	19,912	243,277
2	218,142	18,386	236,528
3	284,397	22,920	307,317
計	2,942,707	287,761	3,230,468

(3) 業務入館

月日	来館者	人数	業務内容
4月 2日	沖縄県ユースホステル協会企画担当者他	2	補助事業青少年支援プロジェクトの引率としての入館
4月 8日	㈱日本旅行 東日本営業本部他	9	首都圏店頭販売員の沖縄美ら海水族館視察研修
4月 10日	首都圏アピタ足利営業所他	42	近畿日本ツーリスト全国の販売店による視察研修
4月 10日	KNT北海道 札幌支店他	37	近畿日本ツーリスト全国の販売店による視察研修
4月 15日	㈱日本旅行 東日本営業本部他	9	首都圏店頭販売員の沖縄美ら海水族館視察研修
4月 16日	ANA大阪支店 マネージャー他	6	神戸夢未来号新任事務局園内下見
4月 19日	パッケージンサービスマネージャー他	3	神戸夢未来号新任事務局園内下見
4月 22日	小田急トラベル・ジャルセールス他	18	販売委託旅行会社カウンタースタッフ研修
4月 22日	㈱JTB関西他	103	社員研修旅行視察
4月 23日	JTB総合提携店他	14	店頭販売社員の旅行知識強化
5月 10日	North Ocean Oceanarium館長他	4	デンマーク北海水族館の館長らによる水族館施設見学
5月 12日	㈱ジャルパック社長他	2	視察研修
5月 14日	メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	5	ウィッシュチャイルドの夢実現
5月 15日	東京急行電鉄他	15	販売委託旅行会社カウンタースタッフ研修
5月 16日	沖縄少年院 法務教官他	3	在院生への社会復帰準備教育の一環としての社会見学の為
5月 16日	㈱ジャルパック国内商品企画部	1	視察研修
5月 18日	ブラジル連邦共和国市長他	11	視察研修
5月 26日	メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	7	ウィッシュチャイルドの夢実現
6月 4日	法人営業 東京支店他	26	社員研修旅行視察
6月 8日	極東ロシア旅行社	23	極東ロシアチャーター初便空港歓迎式の一環としての視察
6月 12日	ハワイ州高校生他	20	沖縄県高校生海外雄飛プロジェクトに係る見学
6月 13日	沖縄少年院 法務教官他	6	在院生への社会復帰準備教育の一環としての社会見学
6月 16日	日本旅行 仙台団体旅行支店他	36	日本旅行教育旅行担当の視察研修
6月 24日	ゲストリレーションズ他	2	視察研修
6月 24日	FAMツアー他	16	西安・武漢からの訪沖旅行商品開発に伴う視察
6月 29日	台湾経済研究員他	20	飼育展示・管理運営状況の視察
6月 30日	メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	5	ウィッシュチャイルドの夢実現
7月 2日	北海道南富良野町他	38	北海道南富良野町・本部町親善交流事業の一環
7月 6日	名桜大学学生課他	39	ウミガメ放流会協力団体の見学
7月 10日	㈱ジャルパック国内商品企画部グループ長他	2	14下期商品造成に向けての視察
7月 15日	メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	5	ウィッシュチャイルドの夢実現
8月 6日	FAMツアー他	8	インセンティブツアー・キーパーソン招請事業に伴う視察
8月 14日	G&S社他	3	沖縄県ロシア委託駐在員による視察
8月 22日	台湾国立台東高級商業職業学校	43	台湾台東民俗芸能沖縄公演者の視察
8月 28日	国営明石海峡公園事務所 調査設計課長	1	飼育展示・管理運営状況の視察
9月 2日	BWT 第三事業部	25	社員研修旅行視察
9月 13日	沖縄ツーリスト	32	シガボール現地スタッフによる沖縄観光施設視察
9月 13日	沖縄ツーリスト	9	シガボールのメディア現地スタッフによる沖縄観光施設視察
9月 16日	ユニ企業 他	14	ユニファリウム実施報告会ならびに参加関係者館内視察
9月 18日	南沙区人民代表常務委員・琉球経済戦略研究会	7	沖縄美ら海水族館の飼育展示及び運営管理状況の視察
9月 22日	日本武道館館長 他	6	沖縄美ら海水族館の飼育展示及び運営管理状況の視察
9月 25日	沖縄観光コンベンションビューロー 海外事業部 他	3	ウエディングで訪れるお客様へアフターウェディングの主要地として沖縄美ら海水族館を推薦・コース追加するため
10月 3日	英国スワン・ヘルニック社	6	英国スワン・ヘルニック社キープン招聘に係る沖縄観光施設の視察
10月 5日	名古屋大学大学院生命農学研究会	6	2017年繁殖生物学会の国際大会に伴う下見
10月 17日	メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	5	ウィッシュチャイルドの夢実現
10月 24日	日本旅行㈱サービス アトレ亀戸営業支店	14	沖縄美ら海水族館の視察研修
10月 24日	メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	5	ウィッシュチャイルドの夢実現
10月 28日	名鉄観光サービス㈱関東営業本部	7	沖縄美ら海水族館の視察研修
10月 29日	沖縄 MICE プロジェクト 2014 (台湾市場)	11	沖縄 MICE プロジェクト 2014 招聘事業に係る沖縄観光施設の視察
10月 29日	沖縄 MICE プロジェクト 2014 (シンガポール市場)	13	沖縄 MICE プロジェクト 2014 招聘事業に係る沖縄観光施設の視察
10月 29日	沖縄 MICE プロジェクト 2014 (マレーシア・インドネシア市場)	14	沖縄 MICE プロジェクト 2014 招聘事業に係る沖縄観光施設の視察
10月 29日	沖縄 MICE プロジェクト 2014 (タイ市場)	12	沖縄 MICE プロジェクト 2014 招聘事業に係る沖縄観光施設の視察
10月 30日	沖縄 MICE プロジェクト 2014 (国内学会主催者)	23	沖縄 MICE プロジェクト 2014 招聘事業に係る沖縄観光施設の視察
10月 30日	日本旅行 営業企画本部 ・海外旅行事業部	5	沖縄美ら海水族館 MICE 会場視察
10月 31日	ANA セールス国内商品部	2	ANA セールス・現地見学の為(2015 年上期商品展開)

月日	来館者	人数	業務内容
10月31日	沖縄MICEプロジェクト2014（国際会議主催者）	8	沖縄MICEプロジェクト2014 招聘事業に係る沖縄観光施設の視察
10月31日	ANA セールス国内商品部	3	ANA セールス・現地下見の為(2015年上期商品展開)
11月1日	沖縄科学技術大学院大学 教授他	9	水族館における動物の飼育・健康管理に関する情報収集のため
11月4日	東武トラベル 榎志木駅支店	15	視察研修
11月4日	東武トラベル 榎志木駅支店・ANA セールス 榎志木支店	3	視察研修
11月4日	メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	5	ウィッシュチャイルドの夢実現
11月4日	コスタ・クルーズ上海支社	10	クルーズ 船社「コスタクルーズ」及び中国大手旅行社招聘に係る視察
11月5日	株式会社 PTS	18	新入社員 現地視察研修
11月12日	杭州・蘇州・無錫旅行社 FAM ツアー	21	中国市場における沖縄旅行商品に主要観光地である沖縄美ら海水族館を組み入れるため
11月12日	到津の森公園 園長他	12	平成26年度九州沖縄ブロック後期園長会の視察
11月13日	大分マリンパレス水族館 園長他	22	大分マリンパレス水族館スタッフによる視察、展示等の情報交換
11月18日	上海 C-TRIP 他	4	旅行商品造成するための視察
11月20日	大分マリンパレス水族館 相談役 他	22	大分マリンパレス水族館スタッフによる視察、展示等の情報交換
11月22日	シンガポール旅行社 FAM ツアー	7	シンガポール旅行社 FAM ツアー
11月22日	中国第一歴史档案館 他	5	沖縄美ら海水族館の飼育展示及び運営管理状況の視察
11月27日	大分マリンパレス水族館 代表取締役 他	22	大分マリンパレス水族館スタッフによる視察、展示等の情報交換
11月28日	カンパニー・デュ・ボナン社	4	仏国カンパニー・デュ・ボナン社への招聘に係る沖縄観光施設の視察
12月1日	メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	5	ウィッシュチャイルドの夢実現
12月6日	公益財団法人 日本修学旅行協会	4	県内修学旅行施設現地調査の為(OCVB 東京事務所経由案件)
12月8日	沖縄観光コンベンションビューロー 海外事業部 MICE 戦略推進課	5	「JNTO(日本政府観光局)イニシアティブ 旅行グループ 招聘事業」海外バリエーション
12月14日	JA ふくおか八女旅行センター・農協観光久留米支店	7	接客対応及び商品展開に活用するための視察
12月14日	日本旅行 国際旅行事業部 海外営業部	28	観光施設である沖縄美ら海水族館へ研修
12月15日	沖縄バリアフリーセンター	2	バリアフリー観光の案内のため
12月17日	沖縄観光コンベンションビューロー	9	韓国「トリジェン」事業者の視察
12月28日	函館市立北日吉小学校他	17	函館市・沖縄県豆記者交歓会交流事業の一環として
12月28日	カンパニー・デュ・ボナン社	4	仏国カンパニー・デュ・ボナン社への招聘に係る沖縄観光施設の視察
1月5日	メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	5	ウィッシュチャイルドの夢実現
1月7日	OKK トラベル他	6	OCVB 実施旬香周島沖縄キャンペーン旅行商品造成下見
1月30日	日本旅行 金田奈緒他	114	沖縄誘致に向けての研修
2月1日	沖縄ツーリスト東京支店 国内旅行部長他	1	沖縄ツーリスト東京支店商品造成に伴う現地下見
2月5日	(一財)沖縄美ら島財団 前田好美	1	沖縄国際洋博覧会国内外審査員、出展者、随行者視察
2月18日	JTB 熊本リレーションセンター 吉田淳二他	11	社員研修旅行視察
2月19日	OKK トラベル他 大城龍二他	6	旅行会社現地視察(近畿日本ツーリスト)
2月19日	沖縄観光コンベンションビューロー	8	ムスリムモニターツアーに係る沖縄観光施設の視察
2月25日	OKK トラベル他 大城龍二他	6	旅行会社現地視察(ジャパネット)
2月25日	OKK トラベル他 大城龍二他	6	旅行会社現地視察(近畿日本ツーリスト)
3月2日	沖縄観光コンベンションビューロー	10	厦門港管理組合及び旅行社招聘に係る沖縄観光施設の視察
3月2日	沖縄観光コンベンションビューロー	1	台湾「トリジェン」の FAM ツアーの視察
3月4日	沖縄観光コンベンションビューロー	8	山東旅遊有限公司(銀座旅行社)への招聘事業に伴う視察
3月9日	JTB 東海 稲田朋恵他	27	沖縄美ら海水族館視察研修
3月10日	メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	3	ウィッシュチャイルドの夢実現
3月14日	JTB ガイアレック サン&サン事業部 課長他	3	JTB サン&サン 夏商品企画 現地下見の為
3月17日	地方公共団体金融機構 理事長他	4	沖縄美ら海水族館の飼育展示・運営管理状況の視察
3月17日	メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	6	ウィッシュチャイルドの夢実現
3月19日	コンドル航空 課長他	4	ドイツ・コンドル航空の担当者2名を招聘し、沖縄への路線開設へと繋げる
3月26日	ANA・ANA セールス販売計画 副部長他	3	ANA セールス・現地下見

(4) 取材状況

実施日	区分	媒体	目的・内容等
4月1日	TV	琉球朝日放送北部通信員	NR「入館料金が変更になります」への打ち返し
4月1,2日	TV	CS「キッズステーション」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
4月3日	雑誌	東急ホテルズマガジン「Comforts」夏号	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
4月7日	TV	山陰放送ニュース番組「テレポータル山陰」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
4月10日	TV	テレビドラマ「いたづらな Kiss」	沖縄美ら海水族館の外観撮影
4月11日	TV	NHK 総合「サラメン」	水族館の獣医の仕事内容及び昼食について紹介
4月13日	その他	韓国アイドルグループ「BOYFRIEND」	CD アルバムの特典映像用に、館内でプロモーション撮影
4月13日	雑誌	エリアガイドムック「TORICO GUIDE 沖縄」	北部の観光スポットとして水族館を紹介
4月17日	TV	長崎放送「あっ!ぶる」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
4月21日	その他	旅行ガイドブック「沖縄 LIKE」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
4月21日	WEB	「ミュゼトラベル」HP	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
4月22日	新聞	琉球新報	移動水族館を取材
4月24日	WEB	「Canon」HP	水族館の景観撮影
4月24日	その他	（株）しまのや会報誌「しま便り」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
4月27日	TV	名古屋テレビ特番「孫まご旅」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
4月29日	TV	沖縄テレビ北部通信員	GW の賑いを取材
4月29日	TV	琉球放送北部通信員	NR「GW スペシャル2014」及びGW の園内の賑いを取材
5月6日	報道	琉球朝日放送北部通信員	GW の賑いの館内景観撮影
5月7,9日	ロケーション	関西テレビ「よいいドン!サンデー」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
5月7-10日	写真撮影	ハゴロモ「2015年版沖縄美ら海水族館カレンダー」	カレンダー用に水族館および海獣施設の生き物の撮影

実施日	区分	媒体	目的・内容等
5月 10日	写真撮影	雑誌「レタスクラブ」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
5月 14日	ロケーション	フジテレビジョンドラマ「イタズラな Kiss」	水族館の景観撮影
5月 27日	写真撮影	アットホーム会報誌「at home TIME」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
6月 9,11日	TV	広島テレビ「坂上忍のバカンス」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
6月 12日	TV	NHK 沖縄名護報道室	NR「サンゴの卵と幼生観察会」への打ち返し
6月 14日	TV	沖縄テレビ北部通信員	NR「サンゴの卵と幼生観察会」への打ち返し
6月 16日	TV	BS 朝日「ベストヒット USA」	館内撮影
6月 16日	TV	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー	極東ロシアの TV 番組にて、沖縄の観光スポットとして紹介
6月 18日	TV	株式会社 HANA TOUR JAPAN	韓国にて沖縄の観光スポットとして紹介
6月 18日	Web	㈱アイ・オーダートレードイング	Web ページにて沖縄の観光スポットとして紹介
6月 19日	TV	読売テレビ「ビーチ流」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
6月 21日	TV	山陰放送「生たまご Bang!」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
6月 22日	その他	G-whiz タイの歌手 Nicky & Mouse のミュージックビデオ	館内撮影
6月 24日	TV	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
7月 3日	Web	JTB 日本の旬	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
7月 3日	TV	NHK 沖縄名護報道室	NR「ノコギリザメの赤ちゃん初展示」への打ち返し
7月 3日	TV	沖縄テレビ北部通信員	NR「ノコギリザメの赤ちゃん初展示」への打ち返し
7月 3日	TV	NHKE テレ「プレキシ英語」	英語での対応に積極的に取り組む水族館スタッフを紹介
7月 4日	その他	歌手・神楽坂ゆかの新曲ミュージックビデオ制作	館内撮影
7月 5日	新聞	沖縄タイムス北部支社	NR「ノコギリザメの赤ちゃん初展示」への打ち返し及び電話取材
7月 6日	新聞	琉球新報北部支社	NR「ノコギリザメの赤ちゃん初展示」への打ち返し
7月 10日	TV	RBC「沖縄 BON!!〜オジャマするわよ」	館内のオススメスポットを紹介
7月 10日	TV	TBS「林先生の痛快!生きざま大辞典」	内田名誉館長を紹介及び景観撮影
7月 13日	TV	BS11「日本ほのぼの散歩」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
7月 14日	雑誌	旅行雑誌「まっぷるマガジン沖縄'16」	景観撮影
7月 14-16日	その他	㈱NHK エンタープライズ DVD「水族館・An aquarium」制作	景観撮影
7月 15日	雑誌	Japan-i×沖縄ツアーランド旅カタログ「暢遊沖縄」(台湾向け)	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
7月 16日	雑誌	雑誌「カーサブルーラス」の朝特集	景観撮影
7月 16日	新聞	熊本日日新聞社	NR「ノコギリザメの赤ちゃん初展示」への打ち返し及び電話取材
7月 23日	TV	ミヤギテレビ「沖縄遊・YOU 塾」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
7月 23日	TV	テレビ東京「そうだ旅に行こう」	外国人に人気の観光スポットとして紹介
7月 24日	雑誌	内閣府政府広報誌英語版「Highlighting Japan」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
7月 27日	TV	海外向け誘客事業「Be OKINAWA」Web サイト	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
7月 28日	雑誌	韓国の月間女性誌「女性中央」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
7月 28日	TV	テレビ番組「世界さまぁ〜リゾート」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
7月 28日	Web	カフリゾートフチャクコンドホテルの HP	アフターウェディングの観光スポットとして紹介
7月 29日	TV	G-whiz 中国のテレビ及び雑誌	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
7月 30日	新聞	琉球新報北部支社 琉球新報社「こども新聞」	飼育員のお仕事について紹介
7月 31日	その他	宝塚女優・風稀かなめさんの写真集制作	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
7月 31日	TV	静岡第一テレビ	静岡県伊東市で定置網に迷い込んだジンベエザメについて電話取材
8月 2日	TV	沖縄テレビ北部通信員	NR「夏休み特別展示ハブクラゲ開始」への打ち返し
8月 3日	TV	㈱とちぎテレビ	沖縄学習旅行をする子どもたちに同行取材し、観光スポットとして紹介
8月 9日	TV	NHK 沖縄名護報道室	NR「美ら海自然教室〜マンタの秘密を探る〜」への打ち返し
8月 10日	雑誌	アメリカの雑誌「Islands」	沖縄の観光スポットとして紹介及び館内撮影
8月 12日	TV	韓国 MBC テレビの特集ドキュメンタリー「グリーンツーリズムのアイランド」	国営の観光施設として水族館を紹介及び館内撮影
8月 14,15日	Web	フリーランス写真家	沖縄の観光スポットとして海洋博公園を紹介
8月 16日	Web	沖縄県のプロモーション事業「BeOKINAWA」のウェブサイト制作	沖縄の観光スポットとして紹介
8月 20日	その他	㈱オキナワロケーションサービス アイドルグループ「私立恵比寿中学」の写真集制作	沖縄の観光スポットとして紹介及び館内撮影
8月 22日	新聞	琉球新報社	水族館の外国人観光客の入館が好調な事について取材
8月 27日	新聞	日本経済新聞	水族館の今年の夏(観光シーズン)の集客状況について電話取材
8月 29日	その他	共同通信社	水族館の8月の入館者数について電話取材
9月 3日	雑誌	㈱JTB パブリッシング 旅行雑誌「るるぶ沖縄'15」	観光施設として海洋博公園・水族館を紹介
9月 5日	Web	ソネット㈱のブログ「モモ妹ブログ PRESS 腕章が入りません」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
9月 7日	その他	「パチスロ実践術 DVD ガチ&パカ BOX」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
9月 9日	新聞	北海道新聞社	北海道にゆかりのある飼育員を紹介
9月 10日	雑誌	沖縄観光コンベンションビューロー インドの旅行者向けガイドブック	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
9月 17日	TV	旅行番組「あつたか沖縄豪華おもてなしの旅 3 日間」	阪急交通社の沖縄旅行を紹介
9月 19日	新聞	東京新聞	沖縄美ら海水族館の入館者に関する電話取材
9月 19日	新聞	琉球新報社	オニヒトデの毒性についての電話取材
9月 24日	Web	「Be.Okinawa」韓国人向け Web サイト	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
9月 25日	新聞	琉球新報社	移動水族館の取材
9月 25日	新聞	沖縄タイムス社	移動水族館の取材
9月 26日	TV	中国・大連のテレビ及び新聞	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介

実施日	区分	媒体	目的・内容等
9月 30日	TV	BSJAPAN「NIKKEI プラス1を見てみよう」	朝日新聞 NIKKEI+1 で紹介された黒潮探検について取材
10月 3日	TV	マレーシアのテレビ「Railworld Japan(仮)」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
10月 3日	雑誌	韓国の雑誌「TRAVELLER」	観光スポットとして水族館及びオキちゃん劇場を撮影
10月 6日	TV	南海放送「おかどり SP」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
10月 9日	Web	ひかりTV「行ってみたい!日本の動物園と水族館」	海洋博公園・水族館の景観撮影
10月 10日	その他	ロケーションファースト 旅程を作成するアプリを紹介するためのPV	訪れる観光スポットとして水族館を紹介
10月 15日	TV	テレビせとうち「どよう DE ど〜よ」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
10月 15日	TV	OCVB 旬キャンペーン「春親子孫たび」	訪れる観光スポットとして水族館を紹介
10月 16日	TV	中国放送「イマなまつ!!」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
10月 17日	雑誌	エアーカーナダ機内誌「enRoute」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
10月 18日	TV	岡山放送「エブリまち」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
10月 18日	その他	住友化学㈱の企業PV	施工実績を紹介する為、水族館にて撮影
10月 21日	TV	韓国のテレビ番組	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
10月 22日	TV	香港のテレビ番組	観光スポットとして水族館を紹介
10月 23日	TV	中国の大連テレビ「新鮮日本」	観光スポットとして水族館を紹介
10月 25日	TV	G-Whiz 中国メディア CTV	観光スポットとして水族館を紹介
10月 27日	TV	日本テレビ「おしゃれイズム」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
10月 28日	TV	NHK 総合「ダーウィンが来た!」	ウバザメとオサガメの紹介及び撮影
10月 29日	TV	南日本放送「阪急いちおし旅」	観光スポットとして水族館及びオキちゃん劇場を撮影
10月 29日	雑誌	フランスのファッション雑誌「Numero」	観光スポットとして水族館及び周辺施設を紹介
11月 4日	雑誌	読売新聞購読者向け雑誌「読売ライフ」	観光スポットとして水族館を紹介
11月 4日	雑誌	G-whiz ドイツ雑誌「Düsseldorf Journal」	観光スポットとして水族館を紹介
11月 5日	雑誌	ロシアの雑誌「Luchee v Khabarovske、Dorogoe Udovolstvee」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
11月 11日	その他	(一財)沖縄美ら島財団 財団広報誌「南ぬ風」	水族館の飼育業務を紹介
11月 11日	その他	JAL 機内用映像「どっちにする?沖縄ニ択の旅 三世代家族の旅」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
11月 17日	新聞	スポーツ報知(西部版)	観光スポットとして水族館を紹介
11月 18日	TV	ロシア国営テレビ「チャンネル1」	観光スポットとして水族館を紹介
11月 22日	新聞	京都新聞「科学ヘジャンプ!in 京都」	「サメの不思議」講座を行った事に関連した取材
11月 28日	Web・新聞	中国・福建省「福建日報」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
12月 1日	その他	若手俳優「佐藤流司」の写真集	観光スポットを閲覧する出演者の様子を撮影
12月 11日	TV	NHK 総合「ダーウィンが来た!」	オオメジロザメの生態に関する取材
12月 12日	雑誌	旅行雑誌「& TRAVEL 沖縄2016」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
12月 12日	TV	NHK 総合「ダーウィンが来た!」	マンタの生態や行動について聞き取り取材
12月 13日	TV	琉球朝日放送北部通信員	NR「沖縄美ら海水族館にクリスマス水槽が登場!!」への打ち返し
12月 15日	TV	HTB 情報番組「イチオシ!」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
12月 17日	TV	バイク情報番組「Like a wind」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
12月 18日	TV	G-whiz タイメディア「Tee Nee Mo-Chit」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
12月 20日	TV	山陰放送「まいど♪」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
12月 21日	TV	マレーシアにて沖縄を舞台としたテレビドラマの制作	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
12月 26日	Web	Web サイト「朝日新聞デジタル」	コラム『沖縄建築パラダイス』において水族館を紹介
12月 27日	TV	琉球朝日放送北部通信員	NR「正月干支水槽」への打ち返し
12月 27日	新聞	琉球新報北部支社	NR「正月干支水槽」への打ち返し
1月 10日	新聞	神戸新聞社「KOBE 夢・未来号沖縄」	各施設を閲覧する参加者の様子を同行取材
1月 10日	TV	ケーブルテレビ徳島「藤ちゃんのひとりで撮れるもん!!in ジャパン」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
1月 11日	Web	中国・北京にて「親子アウトドア」をテーマとした沖縄旅行商品	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
1月12-17日	その他	㈱プロダクツ・プランニング 沖縄美ら海水族館 PR ツール	沖縄美ら海水族館 PR ツールの素材。景観撮影。
1月 14日	その他	日本ビューレット・バックカード㈱	CM 用素材撮影。財団が管理運営を行っている施設の1つとして水族館を紹介する
1月14-16日	Web	電子書籍「沖縄美ら海水族館をもっと楽しむ30のこと(仮)」	海洋博公園および水族館を撮影・取材
1月 17日	Web	沖縄県 Web サイト「Be Okinawa」	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
1月 19日	TV	朝日放送「おはようコール ABC」	観光スポットとして水族館を紹介
1月 20日	新聞	琉球新報社	当館飼育員が発見した「メガマウスザメの化石」についての取材
1月 21日	TV	タイ TV 番組「Jeaw」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
1月 21日	新聞	沖縄タイムス北部支社	当館飼育員が発見した「メガマウスザメの化石」についての取材
1月 21日	TV	NHK 沖縄名護報道室	当館飼育員が発見した「メガマウスザメの化石」についての取材
1月 21日	Web	時事通信	当館飼育員が発見した「メガマウスザメの化石」についての取材
1月 21日	TV	テレビ朝日	当館飼育員が発見した「メガマウスザメの化石」についての取材
1月 27日	Web	科学技術振興機構	当館飼育員が発見した「メガマウスザメの化石」についての取材
1月 28日	Web	ハザードラボ	当館飼育員が発見した「メガマウスザメの化石」についての取材
2月 2日	Web	㈱レイメイコンピュータ HP	販売時点管理情報システムを導入している観光スポットの1つとしてブルーマンタを紹介

実施日	区分	媒体	目的・内容等
2月 4日	ラジオ	ラジオ沖縄「思いやり交差点」	水族館の点字パンフレットの制作紹介
2月 5日	雑誌	雑誌「HugMug」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
2月 6日	Web	Webサイト「ANA 釣り倶楽部」	アフターフィッシングの観光地として水族館を紹介
2月 6日	その他	琉球大学案内誌	琉球大学の卒業生として魚類チームの松崎を紹介
2月 15日	TV	琉球放送(株)	難病の子どもたちとその家族が沖縄旅行を同行取材
2月17-19日	TV	NHK「ダーウィンが来た!」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
2月 19日	Web	Webサイト「Finding Neverland」(オーストラリア)	沖縄の観光スポットとして水族館を紹介
2月 25日	TV	NHK 国際放送「J-TECH」	日プラを紹介するにあたり水族館の大水槽も併せて紹介
3月 16日	TV	CBC テレビ「イッポウ」	観光スポットとして水族館を紹介
3月 18日	雑誌	観光雑誌「るるぶ沖縄ベスト16」	観光スポットとして海洋博公園・水族館を紹介
3月 20日	TV	BSスカパー「行った気になる水族館」	水族館および周辺施設を紹介
3月 23日	Web	富士フィルムの Web サイト	水族館および周辺施設を紹介
3月23-25日	その他	児童書籍「沖縄美ら海水族館のいきもの100」	水族館および周辺施設の生物を撮影
3月 25日	TV	山形テレビ「スーパーJチャンネル」	沖縄遊 YOU 塾の様子を紹介
3月26,27日	その他	ケアストリームヘルス(株)	国際医用画像総合展にて移動型 X 線診断装置を紹介。導入施設の一つとして海洋博公園・水族館を紹介
3月 26日	Web	中国映画「ワンナイト・スタッド」の Web サイト	沖縄でのロケ地紹介として海洋博公園を撮影
3月 27日	TV	よしもとエンタテイメント (タイランド)	沖縄国際映画祭にあたり、タイの俳優に同行取材
3月 27日	TV	福島中央テレビ「ゴジてれ Sun!」	沖縄遊 YOU 塾の様子を紹介
3月 28日	Web	㈱ストリズム	移動水族館を取材
3月 28日	新聞	琉球新報社	移動水族館を取材
3月 29日	新聞	岩手日報	沖縄遊 YOU 塾の様子を紹介
3月 30日	その他	(一財)沖縄美ら島財団	水族館オリジナル商品のパッケージ制作用の素材撮影

※ NR : ニュースリリース

(5) 主な活動、出来事

月日	内容	場所
4月 1日	エイプリルフール展示開始	水族館
4月 3日	イトマキエイ搬入 (陸上蓄養施設)	陸上蓄養棟
4月 4日	移動水族館 若竹福祉会	浦添市
4月 5日	移動水族館 ゆいまーる松川	那覇市
4月 6日	ノコギリザメ妊娠個体エコー検査	水族館
4月 6日 - 16日	飼育実習 中国チャイムロング水族館 (2名)	水族館
4月 10日 - 11日	西海区水産研究所よりメガネモチノウオ輸送	石垣島一水族館
4月 13日 - 15日	新屋島水族館イルカ治療対応	香川県
4月 14日 - 18日	サメ水槽シート交換	水族館
4月 15日 - 16日	動物園水族館協会九州沖縄ブロック園館長会議出席	福岡県
4月 16日 - 22日	飼育実習 釜慶大蔵校	水族館
4月 18日 - 20日	京都大学こども博物館 視察	京都府
4月 19日 - 28日	飼育実習 中国チャイムロング水族館 (2名)	水族館
4月 21日 - 27日	イタチザメ輸液処置	陸上蓄養棟
4月 22日	移動水族館 介護老人保健施設 シルバーピアしきな	那覇市
4月 23日	移動水族館 介護付有料老人ホーム うえた	豊見城市
4月 24日	非常用発電電源等工事に関する打ち合わせ	水族館
4月 25日	マダライルカ採血、体重測定	水族館
4月 26日 - 6日	危険生物パネル展示解説対応	美ら海プラザ
4月 28日	オオメジロザメ淡水適応に関する共同研究打合せ	琉球大学
4月 28日 - 30日	シンガポールへのマンタ輸送打合せ対応	水族館・海上生簀
4月 30日 - 5月	神戸国際大学講演対応	兵庫県
5月 1日 - 2日	石垣島サンゴ礁魚搬入	水族館
5月 1日 - 2日	集魚灯・バヤオ釣り採集	栗国島沖
5月 3日	羽地ダム祭りリュウキュウアユ譲渡	名護市
5月 7日	ノコギリザメ1尾産出 合計12尾	水族館
5月 7日 - 13日	飼育実習 沖縄ペットワールド専門学校	水族館
5月 8日	名護小学校イノー探検事前学習	名護市
5月 10日	移動水族館 アプレシオ真地	那覇市
5月 12日 - 14日	危険ザメの海水槽薬浴治療	水族館
5月 13日 - 16日	シンガポール向け生物発送対応	シンガポール
5月 14日	空港水槽見回り・マヒルヤナギウミエラ採集	那覇市・糸満市
5月 18日 - 24日	飼育実習 日本大学	水族館
5月 20日	ソニーアクアリウム打合せ	東京都
5月 21日	米国人工尾びれ会議	東京都
5月 22日	レモンザメ移動・処置	陸上蓄養棟
5月 22日 - 25日	硫黄島鳥採集 (第二黒潮丸・ROV)	硫黄島
5月 23日	オオメジロザメ移動 (危険ザメ→陸上蓄養槽)	水族館
5月 23日	バリアフリー字幕制作打合せ	水族館
5月 26日	熱帯魚水槽漏水箇所点検	水族館
5月 26日 - 29日	ヤジブカ5尾移動・展示 (海上生簀→館内)	海上生簀→水族館
5月 28日	GODAC 鷺尾新センター長来館対応	水族館
5月 28日	日本銀行政策委員来館対応	水族館
5月 28日	コエダミドリイシ放卵確認	陸上蓄養棟
5月 29日	名護小学校 イノー探検	本部町 (備瀬)
5月 29日	イソマグロ他搬入	国頭漁協

月日	内容	場所
5月30日	マダライルカ定期採血	水族館
5月30日	ヒメイトマキエイ他搬入	知念漁協
5月30日	ナンヨウマンダ交尾確認 No.13♂No.21♀	水族館
6月3日 - 7月31日	「まるごと沖縄クリーナー2014」環境パネル展	水族館
6月4日	インタビュー学習 兵庫県小野市立旭丘中学校4名	水族館
6月5日	サンゴ類購入打合せ、産卵一般公開視察	読谷村
6月7日	サメはえ縄採集	水納島周辺
6月8日 - 12日	イルカ治療往診・類似施設視察	香川県・高知県
6月9日	公明党愛知県議会視察対応	水族館
6月10日	移動水族館 やんばるの家	大宜味村
6月11日	ジンベエザメに関する共同研究打合せ	奈良県(近畿大学)
6月11日	移動水族館 協同にじクリニック	那覇市
6月12日 - 18日	サンゴの幼生観察会実施	水族館
6月13日	ソニーアクアリウム、その他イベント協力に関する打ち合わせ	千葉県(鴨川シーワールド)
6月13日	マダライルカ鳴音録音調査(常磐大学中原教授)	水族館
6月13日	長野県自治労連講演、バックヤード対応	本部棟視聴覚室
6月13日	香港オーシャンパーク職員視察対応	水族館
6月14日	軟骨魚類の生理学・繁殖学に関する研究者交流座談会	名護市(青少年の家)
6月14日 - 16日	日本動物分類学会参加	茨城県(つくば)
6月15日	サメ捕獲調査	那覇市
6月16日	職場体験 沖縄ウエル専門学校5名	水族館
6月17日	首里城自然復元に関する会議	本部棟会議室
6月18日	水草パールセンター視察対応	水族館
6月20日	調査研究技術開発助成事業予備審査	本部棟会議室
6月20日 - 21日	飼育実習 香港オーシャンパーク	水族館
6月21日	モンゴル大使視察対応	水族館
6月21日 - 27日	飼育実習 大宮国際動物専門学校	水族館
6月22日	ヤジブカ出産、仔ザメ移動	海上生簀→水族館
6月22日 - 25日	サケガンラ他生物収集輸送調査	長崎県(上五島)
6月24日	熱中症対策講習	財団本部
6月25日	セーフティーマネジメントの会視察対応	水族館
6月26日 - 27日	ゴマファザラシ調査	渡嘉敷村
6月27日	消防訓練	水族館
6月27日	移動水族館 沖縄中央療護園 生活介護センター彩風の杜	北中城村
6月28日	マダライルカ S-1 内視鏡検査	水族館
6月28日	ヤジブカ移動(海上生簀→サメ水槽)	海上生簀→水族館
6月28日	移動水族館 てだこ苑	浦添市
6月28日	ノコギリザメ繁殖個体展示	水族館
6月30日	落雷による瞬間電圧低下発生、対応作業	水族館
7月2日	鳥取県立博物館徳田氏来館標本輸送作業立会	水族館
7月2日	海洋研究開発機構広瀬氏来館打合せ対応	水族館
7月2日 - 8日	マダライルカ輸送に関する打ち合わせ	和歌山県・大分県
7月3日	トンガリサカタザメエコー診断	水族館
7月3日	大阪市公明党議員団視察対応	水族館
7月5日	大保ダムまつり用リュウキュウアユ受け渡し	海洋博公園
7月5日	青島廉大集団幹事長視察対応	水族館
7月6日	バックヤード案内 鳥取県立境港総合技術高等学校	水族館
7月7日 - 8日	SONY 用生物蓄養状況確認および打ち合わせ、類似施設見学	東京都、千葉県
7月8日	講師派遣 沖縄盲学校	南風原町
7月7日 - 9日	台風8号非常体制対応	水族館
7月11日	NHK 番組出演対応	那覇市
7月11日 - 13日	ジンベエザメ遊泳調査	水族館
7月14日 - 15日	振興真菌感染症打合せ	東京都・大阪府
7月15日	講師派遣 沖縄県立沖縄盲学校小学部	南風原町
7月15日	自民党女性議員視察対応	水族館
7月16日 - 18日	小型移動式クレーン講習	名護市
7月17日 - 18日	サメ駆除に伴う標本調査	石垣市
7月17日 - 26日	SONY 用生物蓄養作業、水槽設置作業	千葉県・東京都
7月18日	与那国島における講演会等 PR 活動に関する打合せ	与那国町
7月20日	北部ダム祭りアユ譲渡	水族館
7月21日 - 28日	SONY 水槽設置作業	千葉県・東京都
7月21日 - 8月31日	夏休み特別ラボ 「サメのふしぎ教室」実施	水族館
7月23日	職場体験 本部町教育委員会 新任、10年教員	水族館
7月24日	移動水族館 社会福祉法人緑樹会	沖縄市
7月25日	沖縄高専サイエンスプログラムに関する打ち合わせ	水族館
7月25日	移動水族館 沖縄病院	宜野湾市
7月25日	SONY アクアリウムオープン	東京都
7月26日	バックヤード案内 JAL 笑顔の贈り物プロジェクト2014	水族館
7月27日	韓国向け生物発送	水族館
7月28日	バックヤード案内 JAL 笑顔の贈り物プロジェクト2014	水族館
7月29日	マダライルカ S-1 採血、超音波検査後抗生剤経口投薬開始	水族館
7月29日 - 8月1日	韓国研修生対応	水族館
7月30日 - 8月1日	イタチザメ麻酔下輸送対応	茨城県
7月31日	ナンヨウマンダ No.21 エコー検査	水族館
7月31日 - 8月1日	台風12号接近のため給餌量調整	水族館

月日	内容	場所
8月 1日	イオンチアーズクラブ講演会対応	イベントホール
8月 1日	博物館実習 2014/夏期 オリエンテーション	水族館
8月 1日 - 4日	SONY 水槽管理作業・講演会対応	東京都
8月 1日 - 31日	ハブクラゲ特別展示	水族館
8月 2日 - 9日	国際菌学会発表及び新興真菌学術調査	タイ・シンガポール
8月 2日 - 11日	博物館実習 2014/夏期	水族館
8月 4日	インタビュー学習 杉山女学園高等学校 (名古屋市) 1年 1名	水族館
8月 6日 - 11日	SONY 水槽管理作業 (換水、展示交換)・講演会対応	東京都
8月 11日	職場体験 本部町立本部小学校 6年 1名	水族館
8月 11日	名護市小中学校長会視察対応	水族館
8月 11日	安里川サメ調査	那覇市
8月 12日 - 18日	飼育実習 京都産業大学	水族館
8月 15日	動物取扱責任者講習	南城市
8月 15日 - 18日	SONY 水槽管理作業・講演会対応	東京都
8月 15日 - 9月 24日	海洋情報パネル展	水族館
8月 16日	ダム祭り用リュウキュウアユ提供	水族館
8月 18日	マダライルカ収容ケージ増設作業	水族館
8月 19日 - 25日	飼育実習 帝京科学大学	水族館
8月 21日	インタビュー学習 琉球大学	水族館
8月 22日	スタウナギ CT 撮影対応	水族館
8月 22日 - 25日	SONY 水槽管理作業・講演会対応	東京都
8月 23日	バックヤード案内 ビッグスマイルプロジェクト 2014	水族館
8月 24日	移動水族館 サポートセンター ビュア	沖縄市
8月 25日 - 27日	移動水族館 沖縄一条園	沖縄市
8月 25日 - 27日	マダライルカ潜水採血実験	水族館
8月 26日	移動水族館 若松苑	北中城村
8月 26日 - 27日	サメ延縄採集	本部沖
8月 26日 - 28日	函南丸乗船マチ類調査	北タイキウ曾根
8月 26日 - 9月 1日	飼育実習 高知大学	水族館
8月 29日 - 9月 2日	SONY 水槽管理作業・講演会・撤収対応	東京都・千葉県
8月 30日 - 9月 1日	鳥取県立博物館企画展講演会対応	鳥取県
9月 1日 - 7日	飼育実習 北海道大学	水族館
9月 2日	サンゴ中水槽にてキビナゴ展示	水族館
9月 1日 - 4日	日動水教育事業研修会	兵庫県
9月 4日 - 5日	CITES 輸入許可申請打ち合わせ会議	東京都
9月 7日 - 9日	九十九島水族館「長崎の刺胞動物」講演会対応	長崎県
9月 8日 - 14日	飼育実習 北海道大学	水族館
9月 10日	イトヒキアジ幼魚展示	水族館
9月 10日 - 11日	動水協生物多様性委員会出席	東京都
9月 10日 - 13日	ジンベエザメ放流技術指導対応	石川県
9月 11日	香港オーシャンパーク デビット・ライ館長来館対応	水族館
9月 11日	移動水族館 NPO 法人 地域福祉研究所	那覇市
9月 12日	移動水族館 大里いきいきデザインサービス	南城市
9月 13日	安波ダムまつり用リュウキュウアユ提供	国頭村
9月 13日 - 15日	アカシュモクザメ輸送作業	宮崎県
9月 14日	サメ水槽ミジユン展示	水族館
9月 15日 - 21日	飼育実習 高知大学	水族館
9月 16日	概要説明 「沖縄スリランカプロジェクト」	水族館
9月 17日	ソニーアクアリウム報告会	水族館
9月 17日	沖縄県立総合教育センター研修対応	水族館
9月 17日	触察対応 埼玉県立特別支援学校埼玉保己一学園	水族館
9月 17日	下田水族館館長他来館対応	水族館
9月 18日	韓国へ生物発送	水族館・海上生簀
9月 21日 - 23日	マダライルカ輸送打合せ (うみたまご)	大分県
9月 22日 - 28日	飼育実習 北海道大学	水族館
9月 24日	職場体験 事前打ち合わせ 沖縄県立沖縄水産高等学校	水族館
9月 24日 - 26日	日動水設備会議	京都府
9月 24日 - 26日	ソーリズム EXPO ジャパン水槽設置対応	千葉県・東京都
9月 25日	移動水族館 泡瀬北デザインサービスセンター	沖縄市
9月 25日	案内 京都大学博物館 大野先生	水族館
9月 26日	移動水族館 デイサービス たんぼぼ	読谷村
9月 26日	案内 宮崎大学 保田先生他 4名	水族館
9月 28日	ジンベエザメ類標本貸出 うみちゅらら	水族館
9月 28日 - 30日	ソーリズムエキスポ水槽撤去作業	東京都・千葉県
9月 30日 - 10月 6日	飼育実習 東海大学	水族館
10月 1日 - 6日	解説業務に関する視察	愛知県・大阪府
10月 5日	繁殖生物学国際大会下見対応	水族館
10月 6日	イルカケージ増設	水族館
10月 6日	日本・アジア青少年サイエンスプログラム案内	水族館
10月 7日 - 13日	飼育実習 日本獣医生命科学大学	水族館
10月 8日	インタビュー学習 大阪市立大学	水族館
10月 8日	とわの森三愛高校講演会対応	本部棟視聴覚室
10月 9日	動物取扱責任者講習	南城市
10月 10日 - 13日	台風 19 号に伴う待機	水族館
10月 14日	台風 19 号に伴う作業 (船下ろし、生簀点検)	海上生簀他

月日	内容	場所
10月15日	職場体験 浦添市立仲西小学校	水族館
10月15日	東京学芸大 吉富准教授 視察対応	水族館
10月15日 - 17日	非常用発電所設備改修による停電対応	水族館
10月17日	アカシユモクザメ搬入 TL70 cm ♀	読谷村
10月17日	都市整備課長会議視察対応	水族館
10月18日	モンゴル大統領補佐官他視察対応	水族館
10月20日	パラオ共和国天然資源・環境・観光大使他視察対応	水族館
10月20日	ホウライザメ搬入 ♀73 cm	読谷村
10月20日	人工授精用ヒメダイ採集	伊江島沖
10月20日 - 26日	飼育実習 日本大学	水族館
10月21日	バックヤード案内 酪農学園大学農食環境学群循環農学類	水族館
10月23日	バックヤード案内 TKC全国会	水族館
10月23日 - 24日	職場体験 沖縄県立沖縄水産高等学校	水族館
10月25日 - 26日	読谷まつり活魚車展示	読谷村
10月26日	パナソニック経理社員視察対応	水族館
10月27日	定置網乗船 サワラ等採集	読谷村
10月29日	移動水族館 沖縄県立大平特別支援学校	浦添市
10月30日	受変電設備改修工事に伴う停電対応	水族館
10月31日	移動水族館 南部医療センター	南風原町
11月1日	ジンベエ・マンタコーナー リニューアルオープン	水族館
11月1日 - 3日	開館12周年記念 バックヤードツアー解説対応	水族館
11月1日 - 7日	飼育実習 岡山理科大学専門学校	水族館
11月6日	職場体験 事前打ち合わせ 名護・屋部中学校	水族館
11月6日	博物館実習 2014秋期 オリエンテーション	水族館
11月7日	触察対応 滋賀県立盲学校高等部2,3年	水族館
11月7日	国交省職員案内対応	水族館
11月9日 - 13日	博物館実習 2014秋期	水族館
11月10日	名古屋港水族館生物発送	水族館
11月11日 - 12日	日動水 九州沖縄ブロック園館長会議	名護市・水族館
11月12日	インタビュー学習 東京学芸大付属中学校	水族館
11月13日	大分マリンバレス職員研修対応	水族館
11月13日	JAMSTEC 取材対応	水族館
11月14日	東京大学海洋アライアンス・海洋教育促進研究センター 打合せ	水族館
11月14日	移動水族館 禄寿園	那覇市
11月15日	移動水族館 安謝医院	那覇市
11月15日 - 16日	仙台大学公開講座対応	宮城県
11月16日	移動水族館 名護療育園	名護市
11月17日 - 25日	シナウスイロイルカ組織サンプル輸入、標本検査等	シンガポール他
11月18日	国頭よりシノノメサカタザメ搬入 TL138cm	水族館
11月18日 - 19日	職場体験 名護市立大宮中学校・羽地中学校	水族館
11月19日	オキナワオオダチ採集	本部沖
11月19日 - 22日	香港オーシャンパーク発送資材準備	水族館
11月20日	葛西水族園へアオリイカ3個体発送	水族館
11月20日	大分マリンバレス職員視察対応	水族館
11月21日	JICA 研修対応	水族館
11月21日	教員向けワークショップ対応 京都府立盲学校	京都府
11月21日 - 27日	飼育実習 日本大学	水族館
11月22日	「科学ヘジャンプ」ワークショップ対応 京都府立盲学校	京都府
11月23日	神戸動植物専門学校インタビュー及びバックヤード見学対応	水族館
11月23日	GODAC 施設一般公開生物展示解説	名護市
11月24日	移動水族館 特別養護老人ホーム ちゅらゆんたんご	読谷村
11月24日	移動水族館 デイサービス 介護老人保健施設 桜山荘たかみね	豊見城市
11月25日	概要説明 筑波大学付属高等学校	水族館
11月26日	香港オーシャンパーク生物発送	水族館
11月26日 - 27日	職場体験 名護市立名護中学校・屋部中学校	水族館
11月27日 - 30日	日本サンゴ礁学会参加	高知県
11月28日	海遊館エイ類発送	水族館
11月29日	海遊館グルクマ発送	水族館
11月30日	生簀アカシユモクザメ1尾サメ水槽へ搬入	水族館
12月2日	沖縄県農業研究センター視察対応	水族館
12月3日	接客・販売促進ロールプレイング大会	本部町
12月3日 - 4日	停電作業対応	水族館
12月3日 - 5日	板鯉類研究会シンポジウム出席	東京都
12月4日	講師派遣 ベアール楽園・幸寿大学校	沖縄市
12月4日	名古屋港生物発送	水族館
12月5日	移動水族館 寿ランド	南風原町
12月5日 - 25日	クリスマス特別展示	水族館
12月6日	移動水族館 海南ハビヒルズ	那覇市
12月6日	沖縄県立博物館シンポジウム対応	那覇市
12月6日 - 8日	大洗水族館新興真菌感染症調査	水族館
12月7日	沖縄県立博物館シンポジウム招待者視察対応	水族館
12月10日	本部今帰仁消防組合立ち入り検査	水族館
12月11日	講師派遣 ベアール楽園・幸寿大学校	沖縄市
12月11日	みなとの博物館ネットワークフォーラム園内視察対応	水族館
12月12日	点字図書館 打ち合わせ	那覇市

月日	内容	場所
12月13日	海遊館向け生物発送	水族館
12月13日 - 16日	海遊館、名古屋港水族館生物発送対応	大阪府・愛知県
12月15日	水族館消防訓練	水族館
12月16日	ブリジストン加藤氏来館対応	水族館
12月16日 - 19日	飼育実習(JICA) パラオ国際サンゴ礁センター2名	水族館
12月17日	バックヤード案内 沖縄県立沖縄水産高等学校	水族館
12月17日	香港向け魚類出荷	水族館
12月18日	オオメジロザメ NO1 移動 蓄養 CO-1~サメ水槽へ展示	水族館
12月19日	カマスサワラ搬入	読谷村
12月19日	黒潮水槽アクリル等潜水点検	水族館
12月21日 - 23日	大洗水族館新興真菌感染症調査	茨城県
12月22日	嘉手納ベース内活魚車出張展示対応	嘉手納町
12月24日	オキナワオオタチ採集	名護湾
12月24日 - 25日	マダライルカ輸送打合せ	和歌山県
12月25日	移動水族館 レイクビュー デイサービス真玉橋	那覇市
12月25日 - 31日	マダライルカ蓄養作業、輸送打合せ	和歌山県
12月26日	移動水族館 かいせい児童クラブ	那覇市
12月26日 - 27日	職場体験 青少年の家	水族館
12月27日 - 1月4日	正月水槽展示	水族館
12月28日	インタビュー対応 函館豆記者交歓会	水族館
12月28日 - 1月5日	大分マダライルカ輸送・処置等にかかる依頼出張	大分県
1月1日	新春安全祈願	海洋博公園
1月1日	ダイオウキカイウツボ中水槽にて展示開始	水族館
1月5日	各漁協挨拶回り	名護・読谷・知念・糸満
1月6日	マダライルカ採血及び体重測定	水族館
1月7日	点字図書館館長来館	水族館・美ら海プラザ
1月10日	神戸ゆめ未来号対応	水族館
1月13日	JICAバックヤード視察対応	水族館
1月13日	黒潮水槽オーバーフロー足場台設置作業対応	水族館
1月13日 - 15日	マダライルカ輸送個体確認作業	和歌山県
1月13日 - 16日	外国人観光客接客対応に関する調査	香港
1月14日 - 17日	新屋島水族館イルカ診療対応	香川県
1月14日	サンゴの海 コブシメ♀個体展示	水族館
1月15日	サイエンスフェスタ実行委員会出席	名護市
1月15日	概要説明 韓国海洋少年団	水族館
1月16日	JAMSTEC 土橋理事来訪対応	水族館
1月18日 - 21日	太地クジラ博物館イルカ診療対応	和歌山県
1月19日 - 21日	動水協九州沖縄四国中国ブロック飼育技術者研究会出席	福岡県
1月20日	黒潮水槽底排水口堆積砂取り出し作業	水族館
1月21日	バックヤード案内 東京都立青峰学園 特別支援学校	水族館
1月26日 - 28日	大分津久見島イルカ診療、X線機器デモ確認	大分県
1月28日 - 31日	動水協飼育技術者研究会出席	大阪府
1月30日 - 31日	やんばるサイエンスフェスタ対応	名護市
1月30日	講師派遣 豊崎小学校6年	豊見城市
1月30日	生物の繁殖に関する研究会発表対応	名護市(名桜大学)
1月31日 - 2月1日	国頭産業まつり対応	国頭村
2月2日	福井盲学校資材発送	水族館
2月4日 - 6日	クラゲポリブ受け取り、類似施設視察(北里大学、新江ノ島水、他)	神奈川県
2月5日	サメ水槽クロヘリメジロザメ搬入	水族館
2月6日	生涯学習フェスティバル打ち合わせ	豊見城市
2月7日	洋蘭博オープニングセレモニー	海洋博公園
2月9日 - 15日	飼育実習 沖縄ペットワールド専門学校	水族館
2月10日 - 13日	世界ラン展水槽設置・生物輸送	東京都・千葉県
2月11日	名護市グッジョブフォーラム	名護市
2月12日	移動水族館 デイサービスほしくぼ	今帰仁村
2月12日 - 20日	シナウスイロイルカ治療(依頼出張)	シンガポール
2月13日	移動水族館 寿仁会ユートピア沖縄	那覇市
2月13日	動物取扱責任者講習	南城市
2月14日	世界ラン展開幕	東京都
2月15日	マダライルカ体重測定、血液検査	水族館
2月15日	サメ水槽アクリル研磨作業	水族館
2月16日 - 19日	視覚障害支援学校触察対応	福井県、京都府
2月17日 - 19日	NHK ノコギリザメ撮影	水族館
2月19日	ジンベエザメ No.14 採血	水族館
2月19日	バックヤード案内 帝京大小学校	水族館
2月19日	財務省公共事業総括係長他視察対応	水族館
2月20日	JAMSTEC 他谷氏、前田氏視察対応	水族館
2月20日	沖縄点字図書館触察対応	水族館
2月21日	ディスカバージャパン開催対応	嘉手納町
2月21日 - 22日	生涯学習フェスタ	豊見城市
2月22日 - 24日	世界ラン展水槽撤収	東京都
2月23日	触察標本貸出 沖縄盲学校	南風原町
2月23日	ヤリマンボウ搬入	読谷村
2月24日 - 27日	マダライルカ診療治療依頼出張	大分県
2月25日	視覚障害者対応パネルに関する打合せ 鳥山筑波大学元教授	水族館

月日	内容	場所
2月 25日 - 28日	淡水調査	北部河川
2月 25日 - 3月 3日	飼育実習 宮崎大学	水族館
2月 26日	名護サイエンスフェスタ実行委員会出席	名護市
2月 26日	サメ水槽アクリル研磨作業	水族館
3月 2日 - 10日	世界水族館会議出席	アメリカ合衆国
3月 3日	鴨川よりタカアシガニ受取	那覇市
3月 3日 - 6日	新屋島水族館イルカ治療	香川県
3月 4日 - 10日	飼育実習 東海大学	水族館
3月 5日	NPO バリアフリーネットワーク打ち合わせ	水族館
3月 5日	東京海洋大学よりウチワエビフィロゾーマ搬入	水族館
3月 5日	黒潮槽オオテンジクザメ死産対応	水族館
3月 6日 - 9日	北部河川調査	国頭村
3月 6日	講師派遣 沖縄盲学校	南風原町
3月 6日	栽培漁業センター業務報告会出席	本部町
3月 6日	黒潮水槽底排立上部砂出し作業対応	水族館
3月 9日	アオリイカ展示	水族館
3月 10日	教育プログラムパンフレット作成 打ち合わせ	水族館
3月 10日 - 16日	飼育実習 神戸動植物環境専門学校	水族館
3月 12日	動物取扱責任者講習受講	南城市
3月 12日	財務省理財局補佐視察対応	水族館
3月 13日	移動水族館 かりゆしの里	南風原町
3月 13日 - 15日	フジ人工尾びれプロジェクト会議	東京都
3月 14日	移動水族館 イリーゼ今帰仁	今帰仁村
3月 16日 - 22日	飼育実習 東京農工大学	水族館
3月 17日 - 18日	シナウスイロイルカ真菌症打合せ	大阪府
3月 17日 - 19日	クロマグロ輸送、搬入（第二黒潮丸）	鹿児島県（奄美大島）
3月 18日	バックヤード見学 国立沖縄工業高等専門学校	水族館
3月 18日 - 19日	オキナワオオタチ採集	国頭村
3月 19日	サンゴの部屋 拡大カメラ交換設置	水族館
3月 21日	大分マダライルカ標本 CT 撮影、解剖	水族館、研究センター
3月 21日	触察 バリアフリーネットワーク	水族館
3月 21日	世界水族館会議、モントレー水族館視察出張報告会	水族館
3月 24日 - 26日	イルカ免疫診断検査	西原町（琉球大学）
3月 25日	黒潮水槽水中音録音機器デモ対応	水族館
3月 25日	福井県特別支援学校講演出張報告会	水族館
3月 26日	オキナワオオタチ採集	国頭村
3月 27日	点字プレート設置	美ら海プラザ
3月 27日	琉球大学高相教授海草類研究打合せ	研究センター
3月 27日	移動水族館 デイサービスみさと	沖縄市
3月 28日	移動水族館 南城市特別養護老人ホーム小谷園	南城市
3月 30日	ROV 納品（ハイビジョンカメラ搭載）	水族館

(6) 主な長期飼育動物・繁殖動物

【主な長期飼育動物】

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

種名	性別	推定年齢	飼育年数	搬入年月日
トゲスギミドリイシ	不明	不明	19 年 6 ヶ月	1995. 9. 搬入
フカトゲキクメイシ	不明	不明	25 年 5 ヶ月	1989. 10. 搬入
オオテンジクザメ	♂	不明	26 年	1989. 4. 10 搬入
トラフザメ	♂	22	23 年 6 ヶ月	1991. 9. 23 ふ化
ジンベエザメ	♂	不明	20 年	1995. 3. 11 搬入
オオメジロザメ	♂	不明	36 年 9 ヶ月	1978. 6. 21 搬入
ネムリブカ	♂	31	32 年 9 ヶ月	1984. 6. 23 出産
ナンヨウマンタ	♂	不明	22 年 10 ヶ月	1992. 5. 25 搬入

【繁殖動物】

完全哺育：6 ヶ月以上生存

種名	繁殖個体数	完全哺育数
ヤジブカ	9	9
ノコギリザメ	12	9

(7) 学会発表、講演等

【学会発表等】

日本動物分類学会（茨城）6月14 - 15日

関東近辺に生息するサンゴ科（八放サンゴ亜綱：ウミトサカ目）5種について

○野中正法¹，角井敬知²（¹沖縄美ら海水族館；²北海道大学大学院理学研究院）

スミソニアン博物館に保管されている沖縄産ツノサンゴ標本から得られた新知見について

○高岡博子¹，Dennis M. Opresko²

（¹沖縄美ら海水族館；²Oak Ridge National Laboratory）

板鰐類シンポジウム2014（東京）12月4日

ジンベエザメの成熟オスの槽内行動

○松本瑠偉¹，植田啓一¹，松本葉介¹，村雲清美¹，鈴木美和²，佐藤圭一³

（¹沖縄美ら海水族館；²日大生物資源；³沖縄美ら島財団）

日本動物園水族館協会・九州沖縄ブロック技術者研究会（福岡）1月20 - 21日

大型水槽で観察されたコブシメの繁殖行動と生物多様との混合飼育

○渡久地峻矢，金子篤史（沖縄美ら海水族館）

日本動物園水族館協会・飼育技術者研究会（大阪）1月29 - 30日

ノコギリザメの飼育下繁殖と妊娠個体の超音波画像診断

○躍場秀兵，高岡博子，村雲清美（沖縄美ら海水族館）

生物の繁殖に関する研究会（沖縄）1月30日

オスのジンベエザメの性成熟と槽内行動の変化

○松本瑠偉¹，植田啓一¹，松本葉介¹，村雲清美¹，鈴木美和²，佐藤圭一³

（¹沖縄美ら海水族館；²日大生物資源；³沖縄美ら島財団）

日本産サンゴ科 Coralliidae サンゴの有性生殖について

○野中正法¹，中村 將²（¹沖縄美ら海水族館；²沖縄美ら島財団）

世界水族館会議（アメリカ合衆国）3月3 - 5日

The effectiveness of compression treatment for deep-sea demersal fishes using a gravity-produced pressure chamber

○Hiroko Takaoka, Atsushi Kaneko¹, Minoru Toda, Keiichi Sato²

（¹Okinawa Churaumi Aquarium；²Okinawa Churashima Foundation）

【講師派遣】

名護市立名護小学校総合学習（本部町）5月29日
イノーにすむ生物について. 田中直美 他9名

長野県自治労連（本部町）6月13日
水族館について. 横山季代子

平成26年度鳥取県立博物館企画展「胸キュン☆サンゴ展」8月31日
特別シンポジウム「あなたの知らないステキなサンゴ～サンゴ研究の最前線～」(鳥取県)
日本の宝石サンゴ類. 野中正法
鳥取の「海松」ツノサンゴについて. 高岡博子

日本刺胞・有櫛動物研究談話会（NCB）
公開シンポジウム「佐世保・北九州の刺胞動物」（長崎県）9月8日
五島列島で発見された「ゴトウモモイロサンゴ」. 野中正法

日本サンゴ礁学会第17回大会「宝石サンゴワークショップ」（高知県）11月29日
宝石サンゴとは？造礁サンゴとの違いは？. 野中正法

ペアーレ楽園・幸寿大学校（沖縄市）12月4日
沖縄の海の環境. 野中正法

ペアーレ楽園・幸寿大学校（沖縄市）12月11日
沖縄の森・川の自然環境. 松崎章平

豊見城市豊崎小学校（豊見城市）1月30日
水族館の仕事について. 松崎章平

なごサイエンスフェスタ2015（名護市）1月31日
サメのふしぎ. 横山季代子 他3名

【原著論文等】

Rahman, M.A., Karl K., Nonaka, M., Fujimura, H., Shinjo, R., Oomori, T., Wörheide G. (2014)
Characterization of the proteinaceous skeletal organic matrix from the precious coral *Corallium konojoi*. Proteomics. 14: 2600-2606. DOI: 10.1002/pmic.201300519.

IV 業務報告

(1) 調査研究活動

造礁サンゴ増養殖技術の開発

目的

造礁サンゴ類の飼育管理および増殖技術を確立することを目的とする。サンゴの生育条件、生活史および成長過程や繁殖を把握し、飼育群体の健康状態を迅速に把握する技術を確立する。さらに、有性および無性生殖による増殖技術を開発する。

方法

(1) 無性生殖による増養殖

これまで株分けで増やした群体を、光量の調節や付着生物の除去などに注意して飼育を行った。病気等で除去が必要な群体は、無性生殖と同じ要領で、健康な部分だけを残して株分けを行った。

(2) 有性生殖による増養殖

飼育しているウスエダミドリイシから得られた卵と精子を交配・定着させ、稚サンゴの育成を行った。また、トラップを使用して、飼育中の *A. paniculata* (和名なし) とムギノホミドリイシから採卵を試みた。

結果

(1) 無性生殖による増養殖

株分けによる無性生殖サンゴ増養殖を試み、飼育中 7 科 13 属 26 種のサンゴ 353 群体を、458 群体に増やすことに成功した。

(2) 有性生殖による増養殖

5 月 26 日～6 月 30 日まで夜間観察を行い、サンゴの海水槽で 6 月 26 日、陸上蓄養槽で 5 月 28 日～7 月 12 日 (満月は 6 月 13 日)、23 : 00 頃に大規模な放卵放精が観察された。これらの卵からの幼生や群体の育成は例年通り行い、継続して増殖を実施している。*A. paniculata* とムギノホミドリイシからは採卵はできたものの受精卵が採れなかった。後の実験の結果、これら親群体がクローンであることが明らかとなったため、今後購入群体については遺伝的な管理が課題となった。

今後の予定

- ・多様性の高い沖縄のサンゴ礁域を再現するため、現在飼育していない種を 7 種購入し、今後無性生殖により増殖していく予定である。
- ・これらのサンゴを教育普及事業に応用する方法を来年度から検討していく。

ジンベエザメの生理・生態調査

目的

ジンベエザメの槽内繁殖をめざし、繁殖海域への回遊状況、性成熟、健康管理等について調査・分析を行う。

方法

- ・ 供試個体

No.14 【ジಂತア】（♂，飼育 19 年，TL 8.5m）

No.29（♀，飼育 7 年，TL 7.2m）

No.32（♀，飼育 6 年，TL 7.1m）

- ・ 採血による血液のサンプリング

飼育個体において定期採血を行った。また、定置網に入網した野生個体の血液のサンプリングを行った。

- ・ ジンベエザメ No.14 の性成熟調査

クラスパーを交差させる行動と雌への追尾行動を観察するとともに、血中のテストステロン濃度の変化も併せて観察し、槽内における成熟オスの行動特性を調査する。

- ・ ロガーを用いたジンベエザメの水槽内行動調査

黒潮水槽内のジンベエザメ 3 個体に同時に三次元方向のデータを記録できるロガーを取り付け、遊泳データを回収する。

結果

- ・ 採血による血液のサンプリング

飼育および野生個体間で、蓄積データから各種血液成分の値を吟味し、通常の血液状態を把握することができた。

- ・ ジンベエザメ No.14 の性成熟調査

6 月から 8 月前半にクラスパーを交差する行動が目立ち、8 月後半からその頻度が徐々に減少することが明らかとなった。また、メスへの追尾行動も 6 月から 8 月の間に多く見られたが、9 月には一気に減少し、水温が最も高かった 9 月初旬頃を境に、ほとんど認められなくなった。ただし、これらの行動とテストステロン濃度の変化に相関関係は見出せなかった。

- ・ ロガーを用いたジンベエザメの水槽内行動調査

No.14 は平均 17 秒遅れで No.32 の後方を追尾するように遊泳しており、その間 No.29 はこの 2 個体から離れた場所を反対方向に遊泳していることが確認された。このことから、No.14 と 32 の遊泳行動に相関があり、同調していることが伺えた。また、No.14 が昼間によく腹面を水面に向けるような行動は、夜間にも行っていることも観察された。

今後の予定

長期飼育中のジンベエザメ No.14 の成熟過程追跡調査結果を、論文として作成中であり、海外のジャーナルへ投稿する予定である。また、クラスパーを交差させながら体をすばやく反転させる行動と、雌個体に対する追尾行動や放精などの成熟雄の行動も頻繁にみられるようになっていくことから、今後も性ホルモン濃度の測定と並行して行動観察を継続し行う。併せて、雌の成熟過程の調査に関しても No.14 と同様に進めていく。また、飼育個体の定期採血を継続し、健

康管理を強化する。

今回の遊泳解析の結果は特定の時間に行った結果であるが、今後は、時間幅を広げて解析を行う。次回の行動観察は時期や時間を変えて行う予定である。

ナンヨウマンタの繁殖

目的

ナンヨウマンタの安定飼育と繁殖に取り組むとともに、繁殖個体の性成熟を調査する。

方法

- ・ 供試個体
No.10-2 (♂, 飼育 6 年, DW 3.4m)
No.21 (♀, 飼育 6 年, DW 3.7m)
No.13 (♂, 飼育 13 年, DW 3.5m)
- ・ 蓄積された飼育データの解析
給餌料・量や摂取熱量、血液検査データの解析とプロポーションの変化を検証する。
- ・ 繁殖個体 No.10-2 の性成熟
性ホルモン検査、繁殖行動の観察から性成熟年齢について調査する。
- ・ No.21 の新規繁殖
水槽内繁殖を目指す。

結果

- ・ 蓄積された飼育データの解析
成長過程の若魚段階では摂取熱量の大きな増減により、体盤幅の成長も左右される可能性が示唆された。また、これまでの繁殖個体を用いて成長曲線を構築すると以下の式で表現された。
$$L = 395 * (1 - \exp(-0.282 * (t + 2.212))) \dots \dots (雌)$$
$$L = 389 * (1 - \exp(-0.282 * (t + 2.595))) \dots \dots (雄)$$

雄の方がやや早めに成長限界に達する傾向が認められ、No.10-2, 13, 21 は今年度での体盤幅の増加が認められず、最大値にほぼ達していると考えられる。
- ・ 繁殖個体 No.10-2 の性成熟
(1) 平成 21 年生まれの No.10-2 (雄) から精液を採取し、精子を確認できたことから、ナンヨウマンタは 5-6 年で性成熟することが分かった。
- ・ No.21 の新規繁殖
(2) 5 月 30 日に平成 25 年度に入れ替えた No.21 (雌) と No.13 (雄) の交尾が確認され、その後妊娠していることが分かった。2 月現在も順調に成長していることが、エコー検査により確認されている。

今後の予定

ナンヨウマンタ繁殖個体の展示については、「ナンヨウマンタ繁殖計画の実施」の中で血統管理を行い展示計画を策定する。また、継続してマンタのプロポーションや行動等の観察を行うとともに、定期採血により生化学およびホルモン値の傾向を把握し、雌の性成熟までの過程を

調査する。

飼育魚類の繁殖技術の開発及び向上

目的

展示効果が高く、自然界からの入手が困難な生物の繁殖技術を獲得し、安定した展示を行う。

方法

- ・ リュウキュウアユ種苗生産
- ・ 深海性フエダイ類（マチ類）繁殖技術開発

結果

- ・ リュウキュウアユ種苗生産

これまで人工繁殖させたリュウキュウアユを、平成 26 年 4 月 20 日水族館内「水辺の生き物たち」コーナーでの展示を実施した。また、平成 25 年度に人工繁殖させた個体を親魚として、受精卵を得ることができた。

- ・ 深海性フエダイ類（マチ類）繁殖技術開発

昨年度に続き安定した仔魚の育成に向けて、水族館で長期飼育しているヒメダイの乾導法による人工授精を行った。2014 年 9 月に行った人工授精では、卵と仔魚を得ることに成功したが、その飼育日数は最長 5 日であった。過去 3 年間の成果を日本水産学会誌に投稿予定である。

今後の予定

リュウキュウアユの種苗生産は安定して行えるようになったため、今後も「環境保全」、「産業振興」に関わる事業として養殖・放流事業を継続する。初期餌料であるワムシの種類を増やし、来年度も飼育ヒメダイの稚魚育成技術の向上を目指す。また、得られた稚魚を展示し、沖縄県の水産資源をアピールする。

海洋博公園前海域のウミトサカ類調査

目的

サンゴ礁を構築するサンゴ群集には、大きく分けてハードコーラルと呼ばれる造礁サンゴ類と、ソフトコーラルと呼ばれるウミトサカ類が含まれる。造礁サンゴ類は数百種を擁し、ウミトサカ類は一千種を超すそれぞれ非常に大きな動物群である。しかし、ウミトサカ類は外部形態から種を特定することが極めて困難な動物の一つである。また、日本では研究者が非常に少ないこともあって沖縄産ウミトサカ類については、種名すらわからないものも多い。本調査は海洋博公園沿岸のサンゴ礁に豊富に生息するウミトサカ類の種構成や分布特性等を明らかにすることを目的とする。今年度は、平成 23、24 年度の野外調査によって得られたウミトサカ類の標本の中からチヂミトサカ科の 3 属およびタイマツトサカ科の 2 属について種同定を行った。

方法

野外調査で確認することのできたチヂミトサカ科 Nephtheidae のトゲトサカ属

Dendronephthya から 3 種、ベニトサカ属 *Scleronephthya* から 2 種及び近縁のヌメリトサカ属 *Litophyton* 類似属から 1 種、タイマツトサカ科 Nidaliidae のホンクダヤギ属 *Siphonogorgia* とクダヤギ属 *Chironephthya* の 2 属から各 2 種を選んで同定と記載を行った。前年度に得られた液浸生物標本、DNA 標本、永久プレパラート標本、SEM 用骨片標本を使用し、生物標本及び骨片標本の解剖と計測、文献及び参考標本との照合を通して同定を行った。

結果

チヂミトサカ科の 3 属から 6 種が確認された。

トゲトサカ属中では、ビロードトゲトサカ *D. habereri* のポリプの小さい標本については未記載として記録した。ヌメリトサカ属の中で群体とポリプの伸縮性が他方と比べて著しく高いグループは新属を提案することが適当であると考えられる。

タイマツトサカ科の 2 属から 4 種が同定された。日本では同科のホンクダヤギ属とクダヤギ属が長期間にわたり混同されていた歴史があったが、今回日本からはじめてホンクダヤギ属が記録された。

今後の予定

来年度は、これまでに取得した同定に必要なさまざまな部位の標本写真および骨片の SEM 写真など画像データを編集し、各属の代表的な種についての解説を含む属単位での図録作成に向けたデータ整理を行う。今後、ウミトサカ類図録の刊行、ホームページでの公開などを通して広く普及に努めたい。

第二黒潮丸、ROV を用いた収集・輸送技術の開発及び向上

目的

新規展示生物の展示を目的とした、収集・輸送および飼育技術の開発。また、既存の装置を適宜改良し、収集技術の向上を図る。

方法

- ・ ROV を用いた採集
100m～350m付近の生物採集及び映像撮影
- ・ 第二黒潮丸による集魚灯、プランクトン採集
硫黄島及び沖縄本島西 30～40 マイル沖合での集魚灯、プランクトンネットによる稚魚、プランクトン採集
- ・ 第二黒潮丸による釣り採集
沖縄本島西 20～40 マイル沖合でのカツオ、キハダ、サメ、深海生物採集
- ・ 第二黒潮丸による生物輸送
黒潮丸の 14 t の活魚槽をつかった生物輸送
- ・ 第二黒潮丸による地域産業振興
本部カツオ漁業振興の地域連携事業及び水族館展示生物採集

結果

- ・ ROV を用いた採集

硫黄鳥島において平成 25 年度に続き調査操業を行った。水深 300m においてハマダイの生息状況を確認する貴重な映像を撮影した。これは水産資源調査を行っている沖縄県水産課へも資料を提供している。その他貴重な映像を多数、映像資料のハイビジョン化を実施し映像価値を高めた。

- ・ 第二黒潮丸による集魚灯、プランクトン採集

平成 25 年度から新たな採集方法を検討する目的で集魚灯を導入し、これに集まる稚魚や深海生物を採集し育成する事業を実施した。採集生物は無脊椎から硬骨魚類まで多数採集され、展示あるいは標本として保存された。中でもハダカイワシ類が生きたまま搬入されたことは特筆すべき結果である。また数種においては成魚まで育成、展示を行った。

表層プランクトンネット曳では、深海性ホウボウ科の稚魚が採集され、展示を実施した。

- ・ 第二黒潮丸による釣り採集

釣り採集は深海からサンゴ魚（硫黄鳥島）黒潮系魚類まで広く行われ、安定的な展示を継続することが出来た。採集生物はカツオ、キハダ類、ナガタチカマス、ハマダイ、深海サメ類、サメ採集では当館初記録となるホホジロザメ（雄）個体が捕獲された。

- ・ 第二黒潮丸による生物輸送

生物輸送では近畿大学奄美養殖場からの完全養殖のクロマグロ輸送、読谷村からマダラトビエイ 20 尾を輸送した。いずれも長距離輸送となったが問題なく無事搬入された。

- ・ 第二黒潮丸による地域産業振興

第二黒潮丸を用いた本部カツオ漁の振興は平成 23 年度より本格操業、平成 26 年度まで順調に水揚げを延ばしている。また、上記生物採集にも本部漁協との連携事業として安全且つスムーズな運用が行われた。

今後の予定

- ・ ROV の活用を広げるため、複数の定点観測地点を設定し、定着基質への生物付着の有無と成長を観察する。また、採集器具を新たに開発し、独自技術を高め入手困難な生物（大型ウミカマツ類等）採集を行う。
- ・ ハイビジョン化した ROV の映像情報を収集管理し、成果を公開する。
- ・ 第二黒潮丸を活用した展示生物採集を継続し、安定的な展示につなげる。
- ・ 集魚灯を活用し、日中は採集が困難な大型魚類、深海生物、無脊椎動物等（クラゲ類）の新規展示生物採集調査を積極的に展開し、採集方法や輸送方法、展示につながる生物相を調査する。
- ・ 本部漁協との連携による生物採集調査、本部カツオ漁及び新規水産事業発掘に取り組む。

期間および場所

平成 26 年 6 月 14 - 15 日 国立科学博物館（茨城県つくば市）

要旨

関東近辺に生息するサンゴ科（八放サンゴ亜綱：ウミトサカ目）5種について

○ 野中正法¹・角井敬知²

（¹沖縄美ら海水族館；²北海道大学大学院理学研究院）

サンゴ科 Coralliidae のサンゴは一般に「宝石サンゴ」として知られ、その堅固な骨軸は装飾品等として利用されている。海外では紀元前から、日本でも江戸時代以降重要な水産物として、本邦では主に和歌山、高知、長崎等の南日本、南西諸島や小笠原諸島で漁獲されている。そのため一般的には熱帯・亜熱帯域に分布するイメージが強いが、先ごろ発刊された「相模湾産八放サンゴ類」でも 2 種が紹介されているように、関東近辺太平洋岸にも記録がある。

この図鑑で紹介されているのは、アカサンゴ *Paracorallium japonicum* (Kishinouye, 1903) とシロサンゴ *Corallium konojoi* Kishinouye, 1903 であるが、両種ともタイプ産地は高知県であり、相模湾での記録は昭和記念筑波研究資料館に所蔵されているアカ 1 点、及びシロ 2 点のみである。これらの標本を調査したところ、アカサンゴとされる NTSM-950 は沖縄の標本と比較し枝の分岐が立体的であり、共肉表面の粒状突起の配置等が異なることが分かった。しかし、骨片のサイズ、形状には差異は見られず、別種と判断するには根拠が乏しく新たな標本調査が望まれる。

関東沿岸がタイプ産地となっている種は 3 種あり、千葉県布良沖のボウシュウサンゴ *C. boshuense* Kishinouye, 1903 とミゾサンゴ *C. sulcatum* Kishinouye, 1903 伊豆大島近海のコサンゴ *C. pusillum* Kishinouye, 1904 があげられる。しかしこの 3 種はホロタイプが失われており、記載以来記録がない。これらに該当すると思われる標本が沖縄や天皇海山から採取されているが、最終的に同定不可能な状態である。先のアカサンゴの問題も含め、相模湾周辺での調査、新たな標本の収集が望まれるところである。

また、2009 年に福島県沖（磐城海山）にて採集されたサンゴ科未記載種の標本があり、これは本邦最北の記録となる。この標本については今後詳細に調査を進め、記載していく予定である。

スミソニアン博物館に保管されている沖縄産ツノサンゴ標本から得られた新知見について

○高岡博子¹・Dennis M. Opresko²

（¹沖縄美ら海水族館；²Oak Ridge National Laboratory）

ツノサンゴ目は刺胞動物門花虫綱に属し、熱帯とその周辺海域を中心に、浅海から深海まで広く分布している。古くから堅い骨軸部が装飾品や魔除けとして、また近年では釣具のルアーなどとして利用されてきたが、昨今、ワシントン条約により輸出入が制限されている。このように古くから知られている動物群であるにもかかわらず、その分類学的検討はほとんどなされておらず、多様性の把握や資源保護の観点からも、新たな手法と知見に基づく研究が必要不可欠となっている。

スミソニアン博物館には総数 474 点の沖縄産ツノサンゴ標本が保管されており、このうち 342

点は未登録標本であった。今回の調査では登録標本 150 点に加えて、未登録標本 197 点の詳細な観察を行った。その結果、3 科 8 属のツノサンゴ目が確認され、このうち Rhipidipathes 属は本邦初記録であることが明らかとなった。

他の動物群と同様に、ツノサンゴ目においても沖縄周辺海域では多様性が特に高いと考えられ、調査を進めるうえで非常に重要な海域と位置付けることができよう。本調査では属までの同定にとどめたが、今後未記載種の記載を進め沖縄産ツノサンゴ相の解明を進めたい。

板鰓類シンポジウム 2014

期間および場所

平成 26 年 12 月 4 日 東京大学農学部弥生講堂・一条ホール（東京都）

要旨

ジンベエザメ成熟オスの槽内行動

○松本瑠偉¹，植田啓一¹，松本葉介¹，村雲清美¹，鈴木美和²，佐藤圭一³

(¹ 沖縄美ら海水族館；² 日大生物資源；³ 沖縄美ら島財団)

沖縄美ら海水族館では 2014 年 11 月現在で飼育年数 19 年 8 ヶ月となるオスのジンベエザメ（全長 8.5 m）が「黒潮の海」大水槽（7500 m³）において飼育・展示されている。本個体は 2011 年 8 月からクラスパーが急激に伸長し、11 ヶ月後の 2012 年 7 月以降その伸長が止まり、現在まで変化は認められていない。2012 年 4 月にはクラスパーを交差し体全体を反転させる行動が観察され始め、同年 8 月には白濁した液体を放出する行動も確認されている。これと同時期に血中のテストステロン濃度も上昇していることから、2012 年夏季ですでに性成熟に達していると推測される。さらに、2014 年 5 月頃から同じ水槽で飼育・展示されているメスのジンベエザメ 2 個体（全長 7.3 m, 7.2 m）に対し、追尾する行動が観察された。

そこで本研究はクラスパーを交差させる行動と成熟後に認められた追尾行動の変化を 2012 年 6 月から現在まで観察するとともに、血中のテストステロン濃度の変化も併せて観察し、槽内における成熟オスの行動特性を調査することを目的とした。その結果、水温が 25～28℃に上昇する 6 月から 8 月前半にクラスパーを交差する行動が目立ち、水温が最高となる 8 月後半からその頻度が徐々に減少することが明らかとなった。また、メスへの追尾行動も 6 月から 7 月後半に多く見られたが、8 月には徐々に減少し、水温が最も高かった 8 月後半頃を境に、この行動が認められなくなった。これらのことから、生殖に関わる行動が夏季の始まりの水温が 25～28℃の範囲で行われる可能性が示唆された。

期間および場所

平成 27 年 1 月 20 - 21 日 到津の森公園管理センター（福岡県北九州市）

要旨

大型水槽で観察されたコブシメの繁殖行動と生物多様との混合飼育

○渡久地峻矢，金子篤史

サンゴ礁域に生息する大型のコウイカ「コブシメ」は特定のサンゴの隙間に産卵することが知られている。通常は捕食や墨吐きの影響を考慮して単独で飼育するが、自然下に近い繁殖行動を展示するため、サンゴ飼育水槽「サンゴの海」（水量 300 m³）においてサンゴ 70 種，魚類 53 種，アサヒガニとの混合飼育を試みた。定置網から得たメス 1 個体（40cmML）を 2014 年 2 月 27 日に搬入し，その 6 日後にオス（50cmML）を搬入した。直後にオスは体の色を縞模様に変えて鰭を波立たせてメスに近寄り，アピールする様子が見られた。翌日午前中に交接を確認し，午後にはエダイボサンゴとユビエダハマサンゴの枝の間に産卵した。75 日間で 5 回の交接を確認し，上記 2 種のサンゴにのみ選択的に産卵を繰り返した。一日に 10～50 個の産卵を確認し，総産卵数は約 300 個であった。墨吐きは 2 度確認したが生物への影響や観覧への著しい影響はなかった。アサヒガニへの捕食行動はみられたが魚類への捕食は確認されなかったことから本水槽での魚類との混合飼育は可能と判断した。

期間および場所

平成 27 年 1 月 29 日—30 日 海遊館ホテルニューオオタニ大阪（大阪府）

要旨

ノコギリザメの飼育下繁殖と妊娠個体の超音波画像診断

○躍場秀兵，高岡博子，村雲清美

ノコギリザメ *Pristiophorus japonicus* は北海道～沖縄諸島の陸棚に分布し，沖縄では水深約 200-600m に生息する。本種は卵黄依存型の胎生であることが知られているが，母胎と胚体との栄養関係については未解明である。飼育下においては，妊娠した野生個体の出産例は知られているが，水槽内での一連の繁殖行動や胎仔の発生過程，妊娠期間，新生仔の長期成育に関する知見は無いことから，超音波画像診断装置を用いた胎仔の発生状況および新生仔の成長を観察した。

研究には 2010－2011 年に鴨川シーワールドより搬入したオス（86cmTL）およびメス（135cmTL）各 1 個体を用いた。2011 年 12 月 18 日に行った超音波画像診断では，妊娠は認められなかった。その後，2014 年 3 月 5 日の超音波画像により，外卵黄嚢を伴った全長約 20cm の胎仔を確認した。2014 年 4 月 6 日には胎仔の全長が 30cm を超え，外卵黄嚢が消失したことから，出産用の水槽（水量 10m³，14℃）に移動した。2014 年 4 月 30 日－5 月 7 日にかけて合計 12 個体（オス 6，メス 6）を出産した。新生仔は全長 33.0－36.5cm，吻部の棘は全て後方にたたまれ

ていたが、出産後 24 時間以内に側方へ張り出した。新生仔は育成水槽(水量 1.5 m³, 水温 14°C)に移動した。その後の超音波画像診断で内卵黄嚢が確認されなかったため、ナンキョクオキアミのむき身の給餌を試みた。産後 5-9 日後に全個体摂餌を開始し現在も飼育を継続中である。今回の妊娠に寄与した個体の交接は直接確認できなかったが、出産後 7 月 14 日に目視で、着底したまま寄り添い噛みつき行動を伴わない交接行動を確認した。また、サメ類は一般に貯精することが知られているが、本種の繁殖周期、飼育期間、交接行動の状況を考慮すれば、水槽内において交接-出産が行われたことが強く示唆される。

生物の繁殖に関する研究会

期間および場所

平成 27 年 1 月 30 日 名桜大学 (名護市)

要旨

オスのジンベエザメの性成熟と槽内行動の変化

松本瑠偉¹, 植田啓一¹, 松本葉介¹, 村雲清美¹, 鈴木美和², 佐藤圭一³

(¹沖縄美ら海水族館; ²日大生物資源; ³沖縄美ら島財団)

ジンベエザメは世界の熱帯から温帯に広く分布する世界最大の魚類である。近年、野外での生態調査が盛んに行われているが、正確な全長の実測、採血、さらには単一の個体を識別して長期間モニタリングすることは難しい。また、体サイズが大きいため、飼育下で観察を行うにも大型の設備とそれを維持する人員の配置が必要となる。これらのことから多くの人に親しまれる種ではあるが、その生態の多くは未だ解明されていないのが現状である。

沖縄美ら海水族館では 2015 年 1 月現在で飼育年数 19 年 10 ヶ月となるオスのジンベエザメ(全長 8.5 m)が「黒潮の海」大水槽 (7500 m³)において飼育・展示されている。本個体は 2011 年 8 月からクラスパーが急激に伸長し、11 ヶ月後の 2012 年 7 月以降その伸長が止まり、現在まで変化は認められていない。2012 年 4 月にはクラスパーを交差し体全体を反転させる行動が観察され始め、同年 8 月には白濁した液体を放出する行動も確認されている。これと同時期に血中のテストステロン濃度も上昇していることから、2012 年夏季ですでに性成熟に達していると推測される。さらに、2014 年 5 月頃から同じ水槽で飼育・展示されているメスのジンベエザメ 2 個体 (2014 年 12 月現在、全長 7.5 m および 7.4 m)に対し、追尾する行動が観察された。

そこで当水族館は本個体がクラスパーを交差させる行動と成熟後に認められた追尾行動の変化を 2012 年 6 月から現在まで観察するとともに、血中のテストステロン濃度の変化も併せて観察し、槽内における成熟オスの行動特性を調査している。現在までの結果、水温が 25~28°C に上昇する 6 月から 8 月前半にクラスパーを交差する行動が目立ち、水温が最高となる 8 月後半からその頻度が徐々に減少することが明らかとなった。また、メスへの追尾行動も 6 月から 7 月後半に多く見られたが、8 月には徐々に減少し、水温が最も高かった 8 月後半頃を境に、この行動がほとんど認められなくなった。これらのことから、生殖に関わる行動が夏季の始まりの水温が 25~28°C の範囲で行われる可能性が示唆された。ただしこれらの行動の変化とテストステロン濃度の変化に現在までの観測では、相関関係が見出せていない。そのため、今後も長期的な観察

を続け、データ量を増やすことで行動とホルモンの関係を調査していく方針である。

日本産サンゴ科 *Coralliidae* サンゴの有性生殖について

○野中正法¹, 中村 将² (1 沖縄美ら海水族館; ² 沖縄美ら島財団)

サンゴ科 *Coralliidae* に属するサンゴは一般に「宝石サンゴ」と呼ばれ、その堅固な骨軸は紀元前から装飾品等として珍重されてきた。宝石サンゴ漁は、日本では 19 世紀から始められ (Kosuge 1993)、現在も高知、鹿児島、沖縄で続けられている。水産物として長く利用されているにもかかわらず、その生物学的研究は岸上 (1904) 以降ほとんどなされていない。沖縄美ら海水族館では、開館の 2002 年以来沖縄産宝石サンゴ類の飼育・展示を行うと同時に、その保全に向けた研究を継続している。今回はその分類学、琉球列島における漁獲の記録とともに、未だ解明されていない繁殖生態についての研究を紹介する。

日本産サンゴ科サンゴは 9 種が知られており、そのうち 3 種が漁獲対象とされている。これら 3 種類の標本を用い、枝先の一部を脱灰後、透過観察切片としヘマトキシリンとエオジンにて染色、顕微鏡下で観察、卵と精子囊の大きさを測定した。その結果、卵と精子を同時に持つ群体は確認できず、雌雄異体と考えられた。性比はシロサンゴにおいては 1:1 であったが、アカサンゴ、モモイロサンゴは有意にメス群体が多かった。生殖腺は摂食ポリプ *autozoid* ではなく管状ポリプ *siphonozoid* 内に存在した。組織内にはプラヌラ幼生は確認できず、放卵放精型 *spawner* と考えられた。生殖腺を持つ最小群体のサイズは、アカサンゴでは高さ 15cm、モモイロサンゴでは 22cm、シロサンゴでは 8cm であり、これ以上の大きさだと繁殖可能であることが示唆された。卵、精子囊の直径は 5-9 月に大きくなる傾向があり、繁殖時期の推定が可能となった。また、アカサンゴ、モモイロサンゴにおいては卵の直径には 2 つのピークが見られ、2 年周期での発達を示唆された。

繁殖生態の一部が解明できたことから、これらのデータを元に漁獲時期・サイズの制限などを提案し、今後の宝石サンゴ資源の保全につなげて行きたいと考えている。

参考文献

岸上鎌吉. (1904) さんごノ研究. 水産調査報告 14 (1): 1-31

Nonaka M. & Muzik K. (2010) Jewels of the deep sea: precious corals. In: Uchida S. (Ed) Into the unknown, researching mysterious deep-sea animals. Proceedings of an International Symposium, 23–24 Feb 2007, Okinawa Churaumi Aquarium, Okinawa: 84-127

Nonaka, M., Muzik, K., Iwasaki, N. (2012) Descriptions of two new species and designation of three neotypes of Japanese *Coralliidae* collected by Kishinouye, introducing a statistical approach. *Zootaxa*. 3428: 1-67.

Nonaka, M., Nakamura, M., Muzik, K. (in press) Sexual reproduction of precious corals from Japanese waters. *Pacific Science* 69.

期間および場所

平成 27 年 3 月 3-5 日 モントレーベイ水族館 (アメリカ合衆国)

要旨

The effectiveness of compression treatment for deep-sea demersal fishes using a gravity-produced pressure chamber

○Hiroko Takaoka¹, Atsushi Kaneko¹, Minoru Toda, Keiichi Sato²
(¹Okinawa Churaumi Aquarium ; ²Okinawa Churashima Foundation)

Rapid reduction of water pressure is the most serious limiting factor for collecting and keeping deep-sea fishes in aquariums. To treat the symptoms of decompression sickness, so-called barotrauma of the fishes collected from the deep ocean below 200m, we have designed a gravity-produced chamber in Okinawa Churaumi Aquarium. This chamber system consists of a 190L and a 3000L tank on the ground floor of the aquarium which hold 4 smaller satellite tanks, respectively on the 1st floor (1.5m), 2nd floor (5m), 3rd floor (10m) and 4th floor (18.5m). It is a circulating system, each tank with inlet filters to help preserve water quality, and with shut-off valves on each floor to create variable pressures in the holding tank. Live deep-sea fish for exhibition are collected by rod & reel and baited traps, both methods commonly used by Okinawa's local deep-sea commercial fisheries. Collected fish are quickly put into cold water tanks with oxygen, sometimes releasing air from their air bladder first, and then transferred to our gravity-produced pressure chamber.

This system has helped us successfully keep over 100 species from depths of 200 to 650m from around Okinawa, such as *Triodon macropterus*, *Cephalopholis igarashiensis* and *Parmaturus melanobranchus*.

This chamber has shown great effectiveness, therefore we have been able to focus on other challenges, such as displaying the fish and technical developments for reproduction.

(2) 教育普及活動

「まるごと沖縄クリーンビーチ 2014」海洋環境パネル展

目的

沖縄クリーンコーストネットワーク事務局の依頼を受け、「まるごと沖縄クリーンビーチ 2014」キャンペーンの一環として、水族館内において「海洋環境パネル展」を実施し、海洋環境保全や海浜等美化の意識向上を図り、環境問題への啓発に努める。

期間および場所

平成 26 年 6 月 3 日 - 7 月 29 日 (57 日間)

沖縄美ら海水族館 1 階 出口前ポスター掲示コーナー



概要

「まるごと沖縄クリーンビーチ 2014」キャンペーンポスターの他、海岸清掃の様子やゴミによって被害を受けたウミガメや海鳥等、野生生物の写真を掲示した。また、医療廃棄物や使い捨てライター等、実際に回収されたゴミの実物を展示した。

特別展「サンゴの幼生観察」

目的

飼育水槽で放卵し発生したサンゴのプラヌラ幼生を来館者に肉眼で観察してもらい、サンゴの生活史やサンゴ礁環境における役割などを、観察会を通じて普及啓発することを目的とした。

期間および場所

平成 26 年 6 月 12 - 18 日 (7 日間)

沖縄美ら海水族館 3 階 「サンゴの海」水槽前

概要

- (1) 飼育水槽で採取したプラヌラ幼生
- (2) マルヅツミドリイシ親群体と 1 歳群体(昨年タイルに定着させ、1 年間飼育したサンゴ)
- (3) サンゴについての一般的な解説、水族館でのサンゴ産卵時期の作業をまとめたパネル

昨年に引き続き、今年は「サンゴの海」水槽の解説をはさみ、前後 30 分に解説者をつけ、その他の時間はお客様に自由に観覧して頂くという形の展示を行った。馴染みのない「プラヌラ幼生」は、解説パネルや実際のサンゴを見ながら解説を行うことで、より深く理解してもらうことができた。観察会期間中にプラヌラ幼生が定着の為に水槽底に沈んでくるため、その後に生まれたプラヌラと 2 回交換を行い、幼生が活発に泳ぎ回る様子を見て頂いた。



夏休み特別展「夏休み特別わくわくアクアラボ「サメのふしぎ教室」

目的

アクアラボにて、子どもの自由研究としても利用できるワークショップを実施する。テーマは「サメ」とし、当館所蔵の標本を活用したワークショップの実施を通し、「サメ」の魅力を広く一般に伝える。

期間および場所

平成 26 年 7 月 21 日 - 8 月 31 日 (42 日間)

沖縄美ら海水族館 1 階 わくわくアクアラボコーナー

概要

(1) ワークショップ実施

1 日 3 回 (11 時、14 時、16 時)、ラボコーナーにてサメをテーマとした特別ラボを実施した。次の 4 つのシナリオ「サメの皮フのふしぎ」「人魚の財布のふしぎ」「サメの歯のふしぎ」「サメの赤ちゃんのふしぎ」の講演を日替わりで実施した。

(2) 冊子制作

特別ラボの実施に合わせて、サメの入門書「サメのふしぎ」を制作した。

(3) 解説パネル及び標本展示

特別ラボの実施時間以外もサメについて学べるように、壁側にサメ類の形態、生態等に関する解説パネル、液浸・乾燥・プラスチックネーション標本を展示した。

参加者数：1,830 名

特別ラボでは、参加者自身が標本を観察しながらサメについて学べる体験学習型の内容とした。その結果、126 回実施したラボの着席率 (8 テーブル 16 席) は 91% と毎回ほぼ満席となり、途中退席する参加者も殆ど見られなかった。体験学習型のプログラムにしたことで、参加者の興味関心がこれまで以上に持続しやすい状態となったと思われる。また、冊子の売れ行きも好調であった。



実施風景



実施風景

出張！わくわくアクアラボ♪「47th Sony Aquarium」

目的

沖縄観光コンベンションビューローとのタイアップ事業の一環として、47th Sony Aquarium の運営に沖縄美ら海水族館として全面的に協力した。Sony Aquarium は東京銀座ソニービルを会場に、Sony のハイビジョン技術や 4K 映像を用い、様々なコンテンツで水族館の魅力を紹介するとともに、「出張！わくわくアクアラボ♪」を毎週末（土日）に開催し、沖縄美ら海水族館の PR および教育普及事業を実施した。

期間および場所

平成 26 年 7 月 25 日 - 8 月 31 日（38 日間）

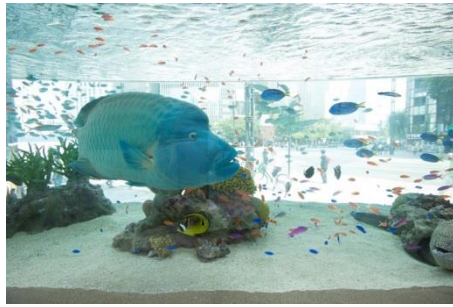
銀座ソニービル（東京都中央区）

概要

Sony Aquarium 期間中、水族館の教育普及事業として「出張！わくわくアクアラボ♪」を実施し、沖縄美ら海水族館の魅力を伝える有意義な事業を展開した。

アクアラボは、事前申込制の体験型イベントとし、期間中週末限定で 1 日 2 回、計 12 日間 24 回実施した。「サンゴ礁と熱帯魚」や「マンタ」「サメ」など週ごとにプログラムを変更し、飼育員による解説と実際に標本に触れながらの講義は、子どものみならず大人の参加者にも大変好評であり、非常に有意義な週末イベントであった。





「第 142 回水路記念日」海洋情報パネル展

目的

第十一管区海上保安本部からの依頼を受け、日本の海図作成がスタートした水路記念日、9月12日に合わせてパネル展を開催し、海洋情報業務の周知・啓発及びマリンレジャーの安全に寄与する。

期間および場所

平成 26 年 8 月 14 日 - 9 月 24 日 (41 日間)

沖縄美ら海水族館 1 階

出口前ポスター掲示コーナー



概要

水路記念日と海洋情報業務の紹介の他、日本周辺の海底地形をアナグリフ画像で見せたり、沖縄周辺の海図を今と昔で比較したりした。また、世界でも珍しい鮮明な最終氷河期以降の海面変動の痕跡を発見したことや伊平屋列島周辺の海底地形の全容等、最近の測量成果による海底地形等を中心に展示した。

ジンベエ・マンタコーナー展示変更

目的

水族館 1 階のジンベエ・マンタコーナーは、沖縄美ら海水族館のメインの展示生物である、ジンベエザメとナンヨウマンタについての情報を伝えるコーナーだが、設置から 12 年たった現在、情報が古くなり、最新の情報を十分に伝えることができていない。そのため全体の模様替えを実施し、これまでの研究成果等も含め映像などの最新情報を新たな表示手法を用いて、利用者サービスの向上を図る。

期間

平成 26 年 10 月 28 日 - 10 月 31 日

概要

パネルの内容をジンベエザメ・ナンヨウマンタの基本情報に加え、当館で長期飼育している中で新たに分かった知見を一般の来館者にもわかりやすく紹介した。パネル内には電子顕微鏡写真やエコー、CT画像なども使用している。大型のモニター2基で、それぞれジンベエザメとナンヨウマンタについて動画で紹介している。壁に沿わせていたソファを中央に移動させ、休憩しながらパネルと動画が見られるようにした。また、ジンベエザメ胎仔標本の展示も導入した。左右の壁面にはジンベエザメとナンヨウマンタ（親・子供）の実物大イメージを施している。

結果

施工前：一つのコーナーというよりは、通路の一部という雰囲気、パネルの文章を読むお客さんは少数であった。

施工後：立ち止まってパネル解説を読むお客さんが多くなった。当館でのナンヨウマンタ出産やジンベエザメ輸送の動画、ジンベエザメの胎仔や採血などの健康管理、ジンベエザメ雄の交尾器が成長しており、今後槽内繁殖を目標としていることなど新しい情報を多く紹介することで、来館者の興味を引くことができた。

開館 12 周年記念 沖縄美ら海水族館バックヤードガイドツアー

目的

水族館のしくみや飼育現場を間近に見学することにより、広く一般に海洋生物や飼育業務への理解を促すとともに、来館者の満足度向上を図る。

期間および場所

平成 26 年 11 月 1 - 3 日（3 日間）

沖縄美ら海水族館 3 階 「黒潮の海」大水槽周辺

概要

定員	20 名
所要時間	30 分
実施時刻	1 回目 10:15 - 45 2 回目 15:15 - 45
コース	調餌室 → 搬入口 → ジンベエザメ吊り上げキャンバス →ジンベエザメ給餌台→予備水槽→大水槽→繁殖水槽

HP で事前に希望者を募集し、抽選の上、34 組 107 名の方々に参加いただいた。大水槽を間近で見学したり、調餌室の冷凍庫に入ったりし、参加者にはおおむね好評であった。特に、現場で作業中の飼育員が仕事の説明などをすると、より満足度が高かった。幼児から年配の方まで、また、車イスでの参加もあったが、問題なく対応できた。



平成 27 年正月干支水槽展示

目的

正月らしい鮮やかな飾り付けの水槽を特別に設置し、来館者の正月気分を盛り上げる。

期間および場所

平成 26 年 12 月 27 日（土）～平成 27 年 1 月 4 日（火）9 日間を実施期間とした。平成 26 年 12 月 27 日～31 日までは通常展示を行い、1 月 1 日以降は水槽周りに正月飾りや屏風などを設置した。イベント情報に展示内容などを掲載し、ホームページ等でも告知を行った。

展示場所：沖縄美ら海水族館 3 階 「サンゴの海」水槽前

概要

(1) 水槽展示

円柱水槽（水量 1t、直径 105cm×高さ 230cm、架台含む）で平成 27 年の干支「羊（ひつじ）」にちなみ、魚へんに羊で「鮮」であることから「鮮やか」をテーマとした生物を展示。元日から正月の飾りつけを施して展示した。

※展示生物：ハナゴイ、ハナダイ、ルリスズメ、アカヒメジ等、ウミシダ類。

(2) パネル及び標本展示

今年の干支「羊」が名前につく海洋生物や正月にちなむ魚をパネル、液浸標本で紹介した。紹介パネルは「オジサン」「ウミシダ」「沖縄のおせちに登場する魚たち」の 3 枚であった。



円柱水槽周辺では、今年のテーマである“鮮やか”にちなんだデバスズメやハナゴイなどを観察する姿が多く見られたほか、羊をモチーフにした水槽周りの装飾と合わせて写真を撮る来館者が非常に多かった。さらに、今回の干支水槽では時間によって照明を変化させる技術を導入し、今後の飼育展示に大いに参考になった。またパネル展示では羊にちなむ生物や沖縄の正月料理と魚について楽しみながら学ぶ機会を提供することができたと考える。

視覚支援学校に対する教育普及活動

目的

プラスチック標本をはじめとする当館所蔵の標本を活用した視覚障害者対応を充実させるため、当館に来館する視覚障害者を中心に標本を用いた触察プログラムを提供する。

概要

- (1) 水族館において、主に視覚支援学校の生徒に対して触察プログラムを実施した。
埼玉県立特別支援学校塙保己一学園高等部 9月17日 6名
滋賀県立盲学校高等部 11月7日 3名
沖縄点字図書館利用者（中途失明者） 2月20日 15名 計3校24名

- (2) 視覚支援学校において、出張授業を実施した。
沖縄県立沖縄盲学校小学部 7月15日 14名
科学へジャンプイン京都 2014（京都府立盲学校花ノ坊校） 11月22日 8名
福井県立盲学校小・高等部 2月18日 8名
沖縄県立沖縄盲学校中・高等部 3月6日 19名 計4校49名

- (3) 視覚支援学校に対し、触察用標本貸出を実施した。
福井県立盲学校 貸出期間 2月12日－2月20日
沖縄県立沖縄盲学校 貸出期間 2月23日－3月6日 計2校



実施風景

美ら海移動水族館

目的

沖縄県内の福祉施設・病院の利用者及び離島住民等、沖縄美ら海水族館への来館が困難な方々を対象に、レクリエーション・普及啓発及び水族館の広報を目的とした展示を現地にて行う。

概要

- (1) 活魚車水槽での魚類展示及び生態解説
- (2) ジンベエザメ等身大タペストリー掲示
- (3) その他（ぬりえ、シール等配布）

今年度は昨年度の約 1.8 倍、35 ヶ所の施設にて移動水族館を実施した。結果、参加総数は 9,327 名となった。実施施設の内訳は病院 3 ヶ所、特別学校 1 ヶ所、その他福祉施設 31 ヶ所であった。

平成 26 年度来場者総数：9,327 名

	実施日	施設名	参加者数
1	4月 4日	地域生活支援センター Enjoy (浦添市)	202
2	4月 5日	介護サービスセンター ゆいまーる松川 (那覇市)	188
3	4月 22日	介護老人保健施設シルバーピアしきな (那覇市)	258
4	4月 23日	介護付有料老人ホーム うえた (南風原町)	208
5	5月 10日	高齢者介護施設アプレシオ真地 (那覇市)	178
6	6月 10日	特別養護老人ホームやんばるの家 (大宜味村)	214
7	6月 11日	協同にじクリニック (那覇市)	256
8	6月 27日	生活介護センター彩風の杜 (北中城村)	156
9	6月 28日	介護老人保健施設エメロードてだこ苑 (浦添市)	144
10	7月 24日	社会福祉法人緑樹会 (浦添市)	350
11	7月 25日	沖縄病院 (西原町)	635
12	8月 24日	セルフサポートセンターびゅあ (沖縄市)	358
13	8月 25日	沖縄一条園デイサービスセンター (沖縄市)	246
14	8月 26日	介護老人保健施設若松苑 (北中城村)	308
15	9月 11日	NPO法人地域福祉研究所 (那覇市)	178
16	9月 12日	大里いきいきデイサービス (南風原町)	169
17	9月 25日	泡瀬北デイサービスセンター (沖縄市)	368
18	9月 26日	デイサービスセンターたんぼぼ (読谷村)	370
19	10月 29日	沖縄県立大平特別支援学校 (浦添市)	342
20	10月 31日	南部医療センター・こども医療センター (南風原町)	955
21	11月 14日	介護老人保健施設緑寿園 (那覇市)	441
22	11月 15日	安謝医院通所リハビリセンター (那覇市)	93
23	11月 16日	名護療育園 (名護市)	172
24	11月 23日	特別養護老人ホームちゅらゆんたんざ (読谷村)	99
25	11月 24日	桜山荘「共に生きる町」たかみね (豊見城市)	373
26	12月 5日	寿デイサービス (南風原町)	232
27	12月 6日	開南ハピヒルズ (那覇市)	155
28	12月 25日	レイクビューデイサービス真玉橋 (那覇市)	119
29	12月 26日	特別養護老人ホーム首里偕生園 (那覇市)	117

	実施日	施設名	参加者数
30	2月 12日	デイサービスほしくぼ（今帰仁村）	106
31	2月 13日	デイサービスアミーゴ（那覇市）	581
32	3月 13日	かりゆしの里（南風原町）	169
33	3月 14日	イリーゼ今帰仁（今帰仁村）	36
34	3月 27日	デイサービスみさと（沖縄市）	164
35	3月 28日	特別養護老人ホーム小谷園（南城市）	297



水族館飼育実習

目的

自然科学系専攻の主として大学生及び専門学校生を対象とした飼育実習を通し、実践的教育活動を提供する。

概要

魚類チームにて専門学校生 5 名、大学生 16 名、その他関連団体 2 名の計 23 名の飼育実習を受け入れ、7 日間（沖縄国際センターのみ 4 日間）の現場対応を行った。

	実施日	学校名	学年
1	4月 16日-4月 22日	釜慶大 schools	4
2	5月 7日-5月 13日	沖縄ペットワールド専門学校	2
3	5月 18日-5月 24日	日本大学	4
4	6月 21日-6月 27日	大宮国際動物専門学校	2
5	8月 12日-8月 18日	京都産業大学	2
6	8月 19日-8月 25日	帝京科学大学	2
7	8月 26日-9月 1日	高知大学	3
8	9月 1日-9月 7日	北海道大学	2
9	9月 8日-9月 14日	北海道大学	3
10	9月 15日-9月 21日	高知大学	3
11	9月 22日-9月 28日	北海道大学	3
12	9月 30日-10月 6日	日本大学	3
13	10月 7日-10月 14日	日本獣医生命科学大学	4

14	10月20日-10月26日	日本大学	3
15	11月1日-11月7日	岡山理科大学専門学校	2
16	11月21日-11月27日	日本大学	3
17	12月16日-12月19日	独立行政法人国際協力機構 沖縄国際センター	-
18	12月16日-12月19日	独立行政法人国際協力機構 沖縄国際センター	-
19	2月9日-2月15日	沖縄ペットワールド専門学校	2
20	2月25日-3月3日	宮崎大学	2
21	3月4日-3月10日	東海大学	2
22	3月10日-3月16日	神戸動植物環境専門学校	2
23	3月16日-3月22日	東京農工大学	2

水族館博物館実習

目的

博物館法施行規則第1条に定める「博物館実習」の単位を当公園で習得しようとする学生を受け入れる。

概要

自然科学系専攻の学生を対象とし、11名の大学生を受け入れた。実習は幅広い知識及び技術を習得させるために、沖縄美ら海水族館、イルカ周辺施設、熱帯・亜熱帯都市緑化植物園、熱帯ドリームセンター、総合研究センターにて実施した。実施期間は、第1回（夏期）は平成26年8月2日-8月11日の間の10日間（休日1日を含む）、第2回（秋期）は平成26年11月7日-11月14日の間の8日間（休日1日を含む）。各期間中、魚類チームは夏期6日間、秋期4日間の日程で現場対応を行った。

	実施期間	学校名	学年
1	第1回（夏期） 平成26年8月2日 - 8月11日	福山大学	4
2		近畿大学	3
3		東海大学	4
4		東海大学	4
5		東京海洋大学	4
6		東京海洋大学	4
7	第2回（秋期） 平成26年11月7日 - 11月14日	近畿大学	3
8		東京農業大学	3
9		東京農業大学	3
10		帝京科学大学	4
11		帝京科学大学	4

職場体験学習

目的

総合学習の一環として広く取り入れられている「職場体験学習」は、県内においても一般企業の協力の下で実施されている。当財団もこの趣旨に賛同し、県内の主に小学生、中学生、高校生を対象に受け入れを行う。

概要

小学校 2校 3名、中学校 4校 12名、高等学校 1校 1名、専門学校 1校 5名、本部町内初任者及び 10年経験者教諭 4名、その他関連施設 1件 10名の計 35名の職場体験を実施した。教育普及担当者の注視のもと、飼育担当者が生徒の指導を行った。

	実施日	学校名	学年	人数
1	6月16日	沖縄ウエル専門学校	2	5
2	7月23日	本部町教育委員会	教諭	4
3	8月11日	本部町立本部小学校	6	1
4	10月15日	浦添市立仲西小学校	6	2
5	10月23日、10月24日	沖縄県立沖縄水産高等学校	2	1
6	11月18日、11月19日	名護市立大宮中学校	2	3
7	11月18日、11月19日	名護市立羽地中学校	2	3
8	11月26日、11月27日	名護市立名護中学校	2	3
9	11月26日、11月27日	名護市立屋部中学校	2	3
10	12月27日	沖縄県立名護青少年の家	小中学生	10

その他の教育普及活動

目的

海洋環境についての学習意欲は昨今非常に高くなっており、県内外の児童生徒から一般の方々にとるまで、多様な教育普及活動の依頼がある。これに答えるべく、インタビュー対応、水族館概要説明、バックヤード見学対応などを行い、普及啓発に努める。

概要

- (1) インタビュー：中学校 2校 9名、高等学校 1校 1名、専門学校 1校 46名、大学 2校 20名、その他関連団体 3件 68名、計 144名の実施
- (2) 概要説明：高等学校 1校 40名、その他関連団体 1件 19名、計 59名の実施
- (3) 講師派遣：小学校 2校 226名、その他関連団体 7件 891名、計 1,117名の実施
- (4) バックヤード：高等学校 3校 68名、高等専門学校 1校 30名、大学 2校 27名、特別支援学校 1校 50名、その他関連団体 1件 40名、計 215名の実施

V 付属資料

(1) 飼育生物一覧 (H26.12.31 現在) Animal inventory December 31, 2014

和名 学名	和名 学名	
動物界 Animalia	トゲヤギ科の一種 <i>Acanthogorgia</i> sp.	5
海綿動物門 Porifera	ウチウヤギ科 <i>Gorgoniidae</i>	
六放海綿綱 <i>Hexactinellida</i>	ムレヤギ <i>Rumphella aggregata</i>	4
カイロウドウケツ目 <i>Lyssacinosa</i>	ホソヤギ科 <i>Plexauridae</i>	
カイロウドウケツ科 <i>Euplectellidae</i>	ヨウラクヤギ属の一種 <i>Bebryce</i> sp.	1
マーシャルカイロウドウケツ <i>Euplectella marshalli</i>	ムチヤギ科 <i>Ellisellidae</i>	
海綿動物門の一種 <i>Porifera</i> sp.	ヒオウギヤギ属の一種 <i>Verrucella</i> sp.	1
刺胞動物門 Cnidaria	ムチヤギ科の一種 <i>Ellisellidae</i> sp.	4
ヒドロ虫綱 Hydrozoa	トクササンゴ科 <i>Isididae</i>	
ヒドロ虫綱の一種 <i>Hydrozoa</i> sp.	トクササンゴ科の一種 <i>Isididae</i> sp.	1
花水母目 <i>Anthomedusae</i>	イソギンチャク目 <i>Actiniaria</i>	
オオタマウミヒドラ科 <i>Hydrocorynidae</i>	カワリギンチャク科 <i>Halcuriidae</i>	
オオタマウミヒドラ <i>Hydrocoryne miurensis</i>	カワリギンチャク科の一種 <i>Halcuriidae</i> sp.	22
鉢虫綱 Scyphozoa	ハナブサイソギンチャク科 <i>Actinodendronidae</i>	
旗口水母目 <i>Semaeostomeae</i>	ハナブサイソギンチャク <i>Actinodendron arboreum</i>	2
ミズクラゲ科 <i>Ulmaridae</i>	セトモイソギンチャク科 <i>Actinostolidae</i>	
ミズクラゲ <i>Aurelia</i> sp.	フウセンイソギンチャク <i>Stomphia japonica</i>	22
ビゼンクラゲ目 <i>Rhizostomeae</i>	カザリイソギンチャク科 <i>Aliciidae</i>	
サカサクラゲ科 <i>Cassiopeidae</i>	ウンバチイソギンチャク <i>Phyllo-discus semoni</i>	1
サカサクラゲ <i>Cassiopea ornata</i>	クラゲイソギンチャク科 <i>Actinoscyphiidae</i>	
タコクラゲ科 <i>Mastigiidae</i>	クラゲイソギンチャク科の一種 <i>Actinoscyphiidae</i> sp.	1
タコクラゲ <i>Mastigias papua</i>	ヒダベリイソギンチャク科 <i>Metridiidae</i>	
花虫綱 Anthozoa	ヒダベリイソギンチャク科の一種 <i>Metridiidae</i> sp.	1
ウミトサカ目 <i>Alcyonacea</i>	イシサンゴ目 <i>Scleractinia</i>	
ウミトサカ科 <i>Alcyoniidae</i>	ムカシサンゴ科 <i>Astrocoeniidae</i>	
ウミトサカ属の一種 <i>Alcyonium</i> sp.	ムカシサンゴ科の一種 <i>Astrocoeniidae</i> sp.	1
ウミイチゴ <i>Bellonella rubra</i>	ハナヤサイサンゴ科 <i>Pocilloporidae</i>	
オオウミキノコ <i>Sarcophyton glaucum</i>	ハナヤサイサンゴ <i>Pocillopora damicornis</i>	12
ノウトサカ属の一種 <i>Cladiella</i> sp.	イボハナヤサイサンゴ <i>Pocillopora verrucosa</i>	4
ヤブトサカ属の一種 <i>Klyxum</i> sp.	ヘラジカハナヤサイサンゴ <i>Pocillopora eydouxi</i>	3
フトウネタケ <i>Lobophytum crassum</i>	トゲサンゴ <i>Seriatopora hystrix</i>	9
ウネタケ属の一種 <i>Lobophytum</i> sp.	シヨウガサンゴ <i>Stylophora pistillata</i>	21
ミナベトサカ <i>Minabea ozakii</i>	ミドリイシ科 <i>Acroporidae</i>	
ミナベトサカ属の一種 <i>Minabea</i> sp.	チヂミウスコモンサンゴ <i>Montipora aequituberculata</i>	18
ウミキノコ属の一種 <i>Sarcophyton</i> sp.	コモンサンゴ属の一種 <i>Montipora</i> sp.	10
ヤナギカタトサカ <i>Sinularia flexibilis</i>	オヤユビミドリイシ <i>Acropora gemmifera</i>	10
カタトサカ属の一種 <i>Sinularia</i> sp.	トゲスギミドリイシ <i>Acropora intermedia</i>	35
チヂミトサカ科 <i>Nephtheidae</i>	スギノキミドリイシ <i>Acropora muricata</i>	15
トゲトサカ属の一種 <i>Dendronephthya</i> sp.	ムギノホミドリイシ <i>Acropora cerealis</i>	15
タイマツトサカ科 <i>Nidaliidae</i>	マルヅツミドリイシ <i>Acropora elseyi</i>	14
タイマツトサカ科の一種 <i>Chironophthya</i> sp.	ハイスギミドリイシ <i>Acropora acuminata</i>	17
タイマツトサカ <i>Nidalia borongaensis</i>	コエダミドリイシ <i>Acropora microphthalma</i>	166
ウミアザミ科 <i>Xeniidae</i>	ヤセミドリイシ <i>Acropora horrida</i>	21
カンムリウミアザミ <i>Fangalis heimi</i>	ウスエダミドリイシ <i>Acropora tenuis</i>	82
ウミアザミ属の一種 <i>Xenia</i> sp.	タチハナガサミドリイシ <i>Acropora selago</i>	4
ネジレヤギ科 <i>Anthothelidae</i>	ミドリイシ属の一種 <i>Acropora</i> sp.	118
ウツロヤギ属の一種 <i>Solenocaulon</i> sp.	ミドリイシ属の一種その2 <i>Acropora paniculata</i>	54
ウスカワヤギ科 <i>Briareidae</i>	アナサンゴ属の一種 <i>Astreopora</i> sp.	1
ムラサキハナヅタ <i>Briareum violacea</i>	ハマサンゴ科 <i>Poritidae</i>	
サンゴ科 <i>Coralliidae</i>	コブハマサンゴ <i>Porites lutea</i>	1
モモイロサンゴ <i>Corallium elatius</i>	ユビエダハマサンゴ <i>Porites cylindrica</i>	11
アカサンゴ <i>Paracorallium japonicum</i>	パラオハマサンゴ <i>Porites rus</i>	5
トゲヤギ科 <i>Acanthogorgia</i> sp.	ハマサンゴ属の一種 <i>Porites</i> sp.	3
ウミウチワ属の一種 <i>Anthogorgia</i> sp.	ヤスリサンゴ科 <i>Siderastreaeidae</i>	
	アミメサンゴ <i>Psammocora profundacella</i>	2

和名 学名		和名 学名	
ヤスリサンゴ属の一種 <i>Coscinaraea</i> sp.	1	チョウジガイ科 <i>Caryophylliidae</i>	
ヒラフキササンゴ科 <i>Agariciidae</i>		ギンカサンゴ <i>Deltocyathus magnificus</i>	6
サオトメシコロサンゴ <i>Pavona cactus</i>	4	アシナガサンゴ属の一種 <i>Stephanocyathus</i> sp.	11
シコロサンゴ <i>Pavona decussata</i>	1	ハナサンゴ <i>Euphyllia glabrescens</i>	31
コノハシコロサンゴ <i>Pavona frondifera</i>	1	ナガレハナサンゴ <i>Euphyllia ancora</i>	2
コモンシコロサンゴ <i>Pavona clavus</i>	7	チョウジガイ科の一種 <i>Caryophylliidae</i> sp.	1
ハマシコロサンゴ <i>Pavona minuta</i>	1	チョウジガイ科の一種その2 <i>Caryophylliidae</i> sp.2	4
シワシコロサンゴ <i>Pavona varians</i>	1	センスガイ科 <i>Flabellidae</i>	
リュウモンサンゴ <i>Pachyseris speciosa</i>	6	センスガイ <i>Flabellum distinctum</i>	3
クサビライシ科 <i>Fungiidae</i>		キササンゴ科 <i>Dendrophylliidae</i>	
シタザラクサビライシ <i>Fungia fungites</i>	52	オオスリバチサンゴ <i>Turbinaria peltata</i>	1
ノコギリクサビライシ <i>Fungia valida</i>	1	ウネリスリバチサンゴ <i>Turbinaria frondens</i>	18
マルクサビライシ <i>Lithophyllon repanda</i>	3	スリバチサンゴ <i>Turbinaria mesenterina</i>	14
ヒラタクサビライシ <i>Fungia concinna</i>	6	ヨコミズスリバチサンゴ <i>Turbinaria reniformis</i>	2
クサビライシ <i>Lobactiscutaria</i>	1	イボヤギ <i>Tubastraea coccinea</i>	4
ゾウライシ <i>Pleuractis paumotensis</i>	1	キササンゴ科の仲間 <i>Dendrophylliidae</i> spp.	7
トゲクサビライシ <i>Ctenactis echinata</i>	1	スナギンチャク目 <i>Zoanthinaria</i>	
トゲクサビライシモドキ <i>Ctenactis crassa</i>	1	ヤドリスナギンチャク科 <i>Epizoanthidae</i>	
キュウライシ <i>Herpolitha limax</i>	2	ヤドカリスナギンチャク属の一種 <i>Epizoanthus</i> sp.	1
イシナマコ <i>Polyphyllia talpina</i>	1	スナギンチャク目の一種 <i>Zoanthinaria</i> sp.	8
カブトサンゴ <i>Halomitra pileus</i>	3	ホネナシサンゴ 目 <i>Corallimorpharia</i>	
ヘルメットイシ <i>Sandalolitha robusta</i>	4	ホネナシサンゴ科 <i>Corallimorphidae</i>	
ミナミカワラサンゴ <i>Lithophyllon lobata</i>	1	ホネナシサンゴ科の一種 <i>Corallimorphidae</i> sp.	1
ヤエヤマカワラサンゴ <i>Podabacia crustacea</i>	2	イソギンチャクモドキ科 <i>Discosomatidae</i>	
クサビライシ科の一種 <i>Fungiidae</i> sp.	8	オオイソギンチャクモドキ <i>Discosoma fenestrafera</i>	40
トゲコザラサンゴ科 <i>Anthemiphylliidae</i>		ツノサンゴ目 <i>Antipatharia</i>	
トゲコザラサンゴ <i>Anthemiphyllia dentata</i>	2	ウミカラマツ科 <i>Antipathidae</i>	
アザミサンゴ科 <i>Galaxeidae</i>		ウミカラマツ属の一種 <i>Antipathes</i> sp.	2
アザミサンゴ <i>Galaxea fascicularis</i>	28	ムチカラマツ <i>Cirripathes anguina</i>	40
ピワガラシ科 <i>Oculinidae</i>		ネジレカラマツ <i>Cirripathes spiralis</i>	3
ピワガラシ属の一種 <i>Madrepora</i> sp.	3	ハウチワツノサンゴ科 <i>Schizopathidae</i>	
ウミバラ科 <i>Pectiniidae</i>		ハウチワツノサンゴ科の一種 <i>Schizopathidae</i> sp.	1
キッカサンゴ <i>Echinophyllia aspera</i>	34	ツノサンゴ目の一種 <i>Aphanipathidae</i> sp.	1
ウスカミサンゴ <i>Mycedium elephantotus</i>	1		
レースウミバラ <i>Pectinia paeonia</i>	13	軟体動物門 <i>Mollusca</i>	
オトゲサンゴ科 <i>Mussidae</i>		二枚貝綱 <i>Bivalvia</i>	
ダイノウサンゴ属の一種 <i>Symphyllia</i> sp.	1	イタボガキ目 <i>Ostreoidea</i>	
ハナガタサンゴ属の一種 <i>Scolymia</i> sp.	3	ベッコウガキ科 <i>Gryphaeidae</i>	
オオハナガタサンゴ <i>Lobophyllia hemprichii</i>	1	シャコガキ <i>Hyotissa hyotis</i>	1
マルハナガタサンゴ <i>Lobophyllia corymbosa</i>	4	イタヤガイ目 <i>Pectinoida</i>	
キクメイシ科 <i>Faviidae</i>		ウミギクガイ科 <i>Spondyliidae</i>	
エダイボサンゴ <i>Hydnophora rigida</i>	2	ミズイリシヨウジョウ <i>Spondylus varius</i>	1
トゲイボサンゴ <i>Hydnophora exesa</i>	1	マルスタレガイ目 <i>Veneroidea</i>	
パリカメノコキクメイシ <i>Goniastrea aspera</i>	1	シャコガイ科 <i>Tridacnidae</i>	
ノウサンゴ <i>Platygyra lamellina</i>	12	ヒレジャコ <i>Tridacna squamosa</i>	8
ミダレナガレサンゴ <i>Leptoria irregularis</i>	1	シラナミ <i>Tridacna maxima</i>	11
トゲキクメイシ属の一種 <i>Cyphastrea</i> sp.	1	シジミ科 <i>Corbiculidae</i>	
フカトゲキクメイシ <i>Cyphastrea serailia</i>	1	ヤエヤマヒルギシジミ <i>Geloina erosa</i>	1
トゲキクメイシ <i>Cyphastrea micropthalma</i>	6	リュウキュウヒルギシジミ <i>Geloina expansa</i>	4
エダトゲキクメイシ <i>Cyphastrea decadia</i>	3	環形動物門 <i>Annelida</i>	
リュウキュウキッカサンゴ属の一種 <i>Echinopora</i> sp.	1	多毛綱 <i>Polychaeta</i>	
オオリュウキュウキッカサンゴ <i>Echinopora gemmacea</i>	1	ケヤリムシ目 <i>Sabellida</i>	
サザナミサンゴ科 <i>Merulinidae</i>		ケヤリムシ科 <i>Sabellidae</i>	
イボサンゴ属の一種 <i>Hydnophora</i> sp.	1	インドケヤリ <i>Sabellastarte sanctijosephi</i>	1
ウスサザナミサンゴ <i>Merulina scabricula</i>	1	頭足綱 <i>Cephalopoda</i>	
サザナミサンゴ科の一種 <i>Merulinidae</i> sp.	4	ツツイカ目 <i>Teuthoidea</i>	
ハナサンゴ科 <i>Euphyllia</i>		ヤリイカ科 <i>Loliginidae</i>	
ミズタマサンゴ <i>Plerogyra sinuosa</i>	2	アオリイカ <i>Sepioteuthis lessoniana</i>	1
		コウイカ目 <i>Sepioida</i>	

和名 学名		和名 学名	
コウイカ科 Sepiidae		トラフシヤコ科 Lysiosquillidae	
コブシメ <i>Sepia latimanus</i>	51	トラフシヤコ <i>Lysiosquilla maculata</i>	3
トラフコウイカ <i>Sepia pharaonis</i>	1	等脚目 Isopoda	
八腕形目 Sepioida		スナホリムシ科 Cirrolanidae	
マダコ科 Sepiidae		オオグソクムシ <i>Bathynomus doederleini</i>	78
オオマルモンダコ <i>Hapalochlaena lunulata</i>	1	十脚目 Decapoda	
ベニツケダコ <i>Octopus mototi</i>	1	ドウケツエビ科 Spongecolidae	
腹足綱 Gastropoda		ドウケツエビ <i>Spongicola venusta</i>	2
古腹足目 Vetigastropoda		オトヒメエビ科 Stenopodidae	
オキナエビス科 Pleurotomariidae		オトヒメエビ <i>Stenopus hispidus</i>	15
テラマチオキナエビス		テナガエビ科 Palaemonidae	
<i>Perotrochus africanus teramachii</i>	1	イソギンチャクエビ <i>Periclimenes brevicarpalis</i>	6
ニシキウスガイ科 Trochidae		ニセアカホシカクレエビ <i>Periclimenes venustus</i>	2
サラサバテイ <i>Tectus niloticus</i>	14	オドリカクレエビ <i>Periclimenes magnificus</i>	27
リュウテンサザエ科 Trochoidea		モエビ科 Hippolytidae	
ハリナガリンボウ <i>Guildfordia yoka</i>	11	イソギンチャクモエビ <i>Thor amboinensis</i>	9
新紐舌目 Neotaenioglossa		アカシマシラヒゲエビ <i>Lysmata amboinensis</i>	30
ウミナ科 Potamididae		リュウグウモエビ <i>Parhyppolyte mistica</i>	3
キバウミニナ <i>Telebralia palustris</i>	40	ソメワケサンゴモエビ <i>Saron inermis</i>	1
タマキビ型新生腹足目 Littorinimorpha		タラバエビ科 Pandalidae	
ソデボラ科 Strombidae		ジンケンエビ属の一種 <i>Plesionika carsini</i>	2
マガキガイ <i>Strombus (Conomurex) luhuanus</i>	12	ミノエビ <i>Heterocarpus hayashii</i>	2
クモガイ <i>Lambis lambis</i>	3	アカザエビ科 Nephropidae	
スイジガイ <i>Lambis (Harpago) chiragra</i>	5	サガミアカザエビ <i>Metanephrops sagamiensis</i>	6
クマサカガイ科 Xenophoridae		アカザエビ科の一種 Nephropidae sp.	1
ウスクマサカガイ <i>Xenophora tenuis</i>	3	シヨウグンエビ科 Enoplometopidae	
セブチリメンクマサカガイ <i>Xenophora regularis</i>	2	クミシヨウグンエビ <i>Enoplometopus chacei</i>	5
タカラガイ科 Cypraeidae		シヨウグンエビ <i>Enoplometopus occidentalis</i>	4
ホシダカラ <i>Cypraea tigris</i>	3	イセエビ科 Palinuridae	
ハナビラダカラ <i>Erosaria annulus</i>	17	リョウマエビ <i>Justitia japonica</i>	2
トウカムリ科 Cassidae		カギテリョウマエビ <i>Justitia longimanus</i>	1
トウカムリ <i>Cassis cornutus</i>	1	アマミイセエビ <i>Panulirus femoristriga</i>	1
新腹足目 Neogastropoda		ケブカイセエビ <i>Panulirus homarus homarus</i>	1
アッキガイ科 Muricidae		カノイセエビ <i>Panulirus longipes</i>	2
オガサワラツブリ <i>Haustellum gallinago</i>	16	ニシキエビ <i>Panulirus ornatus</i>	6
ハッキガイ <i>Siratus pliciferoides</i>	1	ヨロンエビ <i>Palinurellus wieneckii</i>	1
イモガイ科 Conidae		セミエビ科 Scyllaridae	
アンボンクロザメガイ <i>Lithoconus litteratus</i>	4	コブセミエビ <i>Scyllarides haani</i>	1
ニシキミナシガイ <i>Strioconus striatus</i>	2	セミエビ <i>Scyllarides squamosus</i>	23
アンボイナ <i>Conus (Gastridium) geographus</i>	2	ヤドカリ科 Diogenidae	
背楯目 Notaspidea		コガネオニヤドカリ <i>Aniculus maximus</i>	1
ウミフクロウ科 Pleurobranchaeidae		クロシマオニヤドカリ <i>Aniculus sibogae</i>	1
ウミフクロウ科の一種 Conidae sp.	1	アカツメサンゴヤドカリ <i>Calcinus minutus</i>	1
ドーリス目 Doridacea		オオベニワモンヤドカリ <i>Ciliopagurus alcocki</i>	8
ミカドウミウシ科 Hexabrancheidae		トゲヒメヨコバサミ <i>Paguristes acanthomerus</i>	2
ミカドウミウシ <i>Hexabrancheus sanguineus</i>	1	スナギンチャクヒメヨコバサミ <i>Paguristes albimaculata</i>	2
節足動物門 Arthropoda		ユビナガワモンヤドカリ <i>Ciliopagurus krempfi</i>	1
顎脚綱 Maxillopoda		ヤスリヤドカリ <i>Strigopagurus boreonotus</i>	7
皆脚目 Pantopoda		オカヤドカリ科 Coenobitidae	
イソウミグモ科 Ammotheidae		ヤシガニ <i>Birgus latro</i>	3
ヤマトトックリウミグモ <i>Ascorhynchus japonicus</i>	1	オキヤドカリ科 Parapaguridae	
有柄目 Pedunculata		オキヤドカリ科の一種 Parapaguridae sp.	2
ミョウガガイ科 Scalpellidae		ワラエビ科 Chirostylidae	
ミョウガガイ <i>Scalpellum stearnsi</i>	60	ミナミツノコシオリエビ <i>Eumunida pacifica</i>	7
ハダカエビス科 Heteralepadidae		コシオリエビ科 Galatheididae	
ハダカエビス <i>Heteralepas japonica</i>	14	アカツノチュウコシオリエビ <i>Munida andamanica</i>	1
軟甲綱 Malacostraca		オオコシオリエビ <i>Cervimunida princeps</i>	3
口脚目 Stomatopoda		トウヨウコシオリエビ <i>Galathea orientalis</i>	1

和名	学名	
コシオリエビ科の一種	<i>Galatheidae</i> sp.	24
カニダマシ科	<i>Dromiidae</i>	
アカホシカニダマシ	<i>Neopetrolisthes ohshimai</i>	2
カイカムリ科	<i>Dromiidae</i>	
オオカイカムリ	<i>Dromia dormia</i>	1
トガリカイカムリ属の一種	<i>Sphaerodromia ducoussoi</i>	2
ホモラ科	<i>Homolidae</i>	
オオホモラ	<i>Paromola japonica</i>	6
ミスヒキガニ科	<i>Latreillidae</i>	
サナダミズヒキガニ	<i>Latreillia valida</i>	1
アサヒガニ科	<i>Raninidae</i>	
アサヒガニ	<i>Ranina ranina</i>	5
カラッパ科	<i>Calappidae</i>	
メガネカラッパ	<i>Calappa philargius</i>	1
コブシガニ科	<i>Leucosiidae</i>	
エバリア属の一種	<i>Ebalia</i> sp.	1
テナガコブシ	<i>Myra fugax</i>	2
クモガニ科	<i>Majidae</i>	
モクズシヨイ	<i>Camposcia retusa</i>	7
クモガニ属の一種	<i>Majidae</i> sp.	1
タカアシガニ	<i>Macrocheira kaempferi</i>	5
アシナガツノガニ	<i>Phalangipus hystrix</i>	1
ヒシガニ科	<i>Parthenopidae</i>	
メンコヒシガニ	<i>Aethra scruposa</i>	1
ヒシガニ	<i>Platylambrus validus</i>	1
オキナヒシガニ	<i>Aulacolambrus hoplonotus</i>	1
カルイシガニ	<i>Daldorfia horrida</i>	10
オオエンコウガニ科	<i>Geryonidae</i>	
オオエンコウガニ	<i>Chaceon granulatus</i>	1
ワタリガニ科	<i>Portunidae</i>	
シマイシガニ	<i>Carybdis feriata</i>	1
アカモンガニ科	<i>Carpiliidae</i>	
アカモンガニ	<i>Carpilius maculatus</i>	4
オウギガニ科	<i>Xanthidae</i>	
マツバガニ	<i>Hypothalassia armata</i>	1
オオノコギリエンコウガニ	<i>Neopilumnoplax major</i>	3
スナガニ科	<i>Ocypodidae</i>	
ルリマダラシオマネキ	<i>Uca tetragonon</i>	10
ベニシオマネキ	<i>Uca crassipes</i>	20
ヤエヤマシオマネキ	<i>Uca dussumieri</i>	3
オキナワハクセンシオマネキ	<i>Uca perexa</i>	20
ヒメシオマネキ	<i>Uca vocans</i>	5
昆虫綱	<i>Insecta</i>	
コウチュウ目	<i>Coleoptera</i>	
ガムシ科	<i>Hydrophilidae</i>	
ガムシの仲間	<i>Hydrophilidae</i> sp.	1
ゲンゴロウ科	<i>Dytiscidae</i>	
コガタノゲンゴロウ	<i>Cybister tripunctatus orientalis</i>	1
棘皮動物門	<i>Echinodermata</i>	
ウミユリ綱	<i>Crinoidea</i>	
ゴカクウミユリ目	<i>Isocrinida</i>	
ゴカクウミユリ科	<i>Isocrinidae</i>	
トリノアシ	<i>Metacrinus rotundus</i>	3
オオウミユリ	<i>Saracrinus nobilis</i>	1
ウミシダ目	<i>Comatulida</i>	
クシウミシダ科	<i>Comasteridae</i>	
ハナウミシダ	<i>Comanthina nobilis</i>	5
コアシウミシダ	<i>Comanthus parvicirrus</i>	3

和名	学名	
リュウキュウウミシダ	<i>Oxycomanthus bennetti</i>	8
フトアシウミシダ	<i>Oxycomanthus pinguis</i>	4
クシウミシダ科の一種	<i>Comasteridae</i> sp.	6
ハネウミシダ科	<i>Himerometridae</i>	
アカバネウミシダ	<i>Himerometra robustipinna</i>	1
オオウミシダ科	<i>Tropiometridae</i>	
オオウミシダ	<i>Tropiometra afra macrodiscus</i>	3
ヒトデ綱	<i>Asteroidea</i>	
ウデボソヒトデ目	<i>Brisingida</i>	
シワウデボソヒトデ科	<i>Brinsingidae</i>	
ヒグルマヒトデ属の一種	<i>Novodinia</i> sp.	2
ヒメヒトデ目	<i>Spinulosida</i>	
ヒメヒトデ科	<i>Echinasteridae</i>	
ルソンヒトデ	<i>Echinaster luzonicus</i>	8
アカヒトデ目	<i>Valvatida</i>	
イトマキヒトデ科	<i>Asterinidae</i>	
サメハダヒトデ属の一種	<i>Nepanthia</i> sp.	1
ゴカクヒトデ科	<i>Goniasteridae</i>	
ヤマホシヒトデ	<i>Hippasteria imperialis</i>	2
ゴカクヒトデ科の一種	<i>Goniasteridae</i> sp.	7
ホウキボシ科	<i>Ophidiasteridae</i>	
アミメジューベリヒトデ	<i>Fromia indica</i>	1
オオアカヘビヒトデ	<i>Leiaster speciosus</i>	1
オキアカヒトデ	<i>Heteronardoa diamantinae</i>	1
アオヒトデ	<i>Linckia laevigata</i>	199
ゴマフヒトデ	<i>Linckia multifora</i>	1
ホウキボシ科の一種	<i>Ophidiasteridae</i> sp.	4
コブヒトデ科	<i>Oreasteridae</i>	
カワテブクロ	<i>Choriaster granulatus</i>	2
マンジュウヒトデ	<i>Culcita novaeguineae</i>	37
アワユキヒトデ	<i>Gymnanthenea globigera</i>	1
コブヒトデモドキ	<i>Pentacaster alveolatus</i>	2
コブヒトデモドキ属の一種	<i>Pentacaster</i> sp.	1
ヒトスジコブヒトデ	<i>Poraster superbus</i>	1
コブヒトデ	<i>Protoreaster nodosus</i>	48
ヒョウモンカワテブクロ	<i>Pentaster obtusatus</i>	2
コブヒトデ科の一種	<i>Oreasteridae</i> sp.	2
オニヒトデ科	<i>Acanthasteridae</i>	
オニヒトデ	<i>Acanthaster planci</i>	3
フトゲヒトデ科	<i>Mithrodiidae</i>	
フトゲヒトデ	<i>Mithrodia clavigera</i>	1
クモヒトデ綱	<i>Ophiuridea</i>	
ツルクモヒトデ目	<i>Euryalida</i>	
テヅルモヅル科	<i>Gorgonocephalidae</i>	
セノテヅルモヅル	<i>Astrocladus confiferus</i>	5
テヅルモヅル科の一種	<i>Gorgonocephalidae</i> sp.	1
クモヒトデ目	<i>Ophiurida</i>	
クモヒトデ科	<i>Ophiuridae</i>	
ワモンクモヒトデ	<i>Ophiolepis superba</i>	1
トゲクモヒトデ科	<i>Ophiotrichidae</i>	
トゲクモヒトデ科の一種	<i>Ophiotrichidae</i> sp.	2
クモヒトデ目の一種	<i>Ophiurida</i> sp.	41
ウニ綱	<i>Echinoidea</i>	
オウサマウニ目	<i>Cidaroida</i>	
オウサマウニ科	<i>Cidaridae</i>	
ミカドウニ	<i>Goniocidaris mikado</i>	1
ヤマトオウサマウニ	<i>Stereocidaris sceptriferoides</i>	6
オウサマウニ科の一種	<i>Cidaridae</i> sp.	3

和名 学名		和名 学名	
フクロウニ目 Echinothuroidea		シユモクザメ科 Sphyrnidae	
フクロウニ科 Echinothuriidae		アカシユモクザメ <i>Sphyrna lewini</i>	5
フクロウニ科の仲間 Echinothuriidae spp.	4	ツノザメ目 Squaliformes	
ガンガゼ目 Diadematoidea		ツノザメ科 Squalidae	
ガンガゼ科 Diadematiidae		ヒゲツノザメ <i>Cirrhigaleus barbifer</i>	1
ガンガゼ <i>Diadema setosum</i>	8	ツマリツノザメ <i>Squalus brevirostris</i>	2
ホンウニ目 Echinoida		カスザメ目 Squatiniformes	
ラッパウニ科 Toxopneustidae		カスザメ科 Squatinidae	
シラヒゲウニ <i>Tripneustes gratilla</i>	22	カスザメ <i>Squatina japonica</i>	1
ナガウニ科 Echinometridae		ノコギリザメ目 Pristiophoriformes	
ナガウニ <i>Echinometra mathaei</i>	9	ノコギリザメ科 Pristiophoridae	
パイブウニ <i>Heterocentrotus mammillatus</i>	6	ノコギリザメ <i>Pristiophorus japonicus</i>	12
ヘンゲブンプク科 Palaeopneustidae		トンガリサカタザメ目 Rhynchobatiformes	
ウリザネブンプク <i>Platybrissus roemeri</i>	2	トンガリサカタザメ科 Rhynchobatidae	
ナマコ綱 Holothuroidea		シノメサカタザメ <i>Rhina ancylostoma</i>	1
マナマコ目 Aspidochirotida		シノメサカタザメ科 Rhynchobatidae	
クロナマコ科 Holothuriidae		トンガリサカタザメ <i>Rhynchobatus djiddensis</i>	3
ニセジャノメナマコ <i>Bohadschia</i> sp.	2	サカタザメ目 Rhinobatiformes	
ニセクロナマコ <i>Holothuria leucospirata</i>	370	ウチワザメ科 Platyrrhinidae	
エクレアナマコ <i>Holothuria nigralutea</i>	4	ウチワザメ <i>Platyrrhina tangi</i>	6
シカウナマコ科 Stichopodidae		ガンギエイ目 Rajiformes	
オキナマコ <i>Parastichopus nigripunctatus</i>	3	ガンギエイ科 Rajidae	
ナマコ綱の一種 Holothuroidea sp.	8	ガンギエイ科の一種 Rajidae sp.	3
イカリナマコ科 Synaptidae		トビエイ目 Myliobatiformes	
オオイカリナマコ <i>Synapta maculata</i>	1	アカエイ科 Dasyatidae	
脊索動物門 Chordata		イバラエイ <i>Urogymnus asperrimus</i>	3
ヌタウナギ綱 Myxini		オグロオトメエイ <i>Himantura fai</i>	8
ヌタウナギ目 Mixiniformes		ヒョウモンオトメエイ <i>Himantura uarnak</i>	11
ヌタウナギ科 Myxinidae		ヤッコエイ <i>Neotrygon kuhlii</i>	1
ムラサキヌタウナギ <i>Eptatretus okinoseanus</i>	2	ウシエイ <i>Dasyatis</i> sp.	4
軟骨魚綱 Chondrichthyes		トビエイ科 Myliobatidae	
ネコザメ目 Heterodontiformes		ウシバナトビエイ <i>Rhinoptera javanica</i>	88
ネコザメ科 Heterodontidae		マダラトビエイ <i>Aetobatus narinari</i>	16
ネコザメ <i>Heterodontus japonicus</i>	5	ナンヨウマンタ <i>Manta alfredi</i>	6
テンジクザメ目 Orectolobiformes		硬骨魚綱 Osteichthyes	
テンジクザメ科 Hemiscylliidae		カライワシ目 Elopiformes	
イヌザメ <i>Chiloscyllium punctatum</i>	4	カライワシ科 Elopidae	
ジンベエザメ科 Rhincoodontidae		カライワシ <i>Elops hawaiiensis</i>	5
トラフザメ <i>Stegostoma fasciatum</i>	9	イセゴイ科 Megalopidae	
オオテンジクザメ <i>Nebrius ferrugineus</i>	14	イセゴイ <i>Megalops cyprinoides</i>	4
ジンベエザメ <i>Rhincodon typus</i>	5	ウナギ目 Anguilliformes	
メジロザメ目 Carcharhiniformes		ウナギ科 Anguillidae	
トラザメ科 Scyliorhinidae		オオウナギ <i>Anguilla marmorata</i>	2
イモリザメ <i>Parmaturus pilosus</i>	5	ウツボ科 Muraenidae	
ハシナガヤモリザメ <i>Galeus longirostris</i>	1	キカイウツボ亜科の一種 <i>Channomuraena vittata</i>	1
ナガサキトラザメ <i>Halaelurus buergeri</i>	5	ゼブラウツボ <i>Gymnomuraena zebra</i>	1
ナヌカザメ <i>Cephaloscyllium umbratile</i>	3	オキノシマウツボ <i>Gymnothorax ypsilon</i>	1
トラザメ <i>Scyliorhinus torazame</i>	24	ハワイウツボ <i>Gymnothorax berndti</i>	1
ドチザメ科 Triakidae		アミウツボ <i>Gymnothorax reticularis</i>	1
ヒョウザメ <i>Proscyllium venustum</i>	6	ミゾレウツボ <i>Gymnothorax neglectus</i>	4
ホシザメ <i>Mustelus manazo</i>	2	ウツボ <i>Gymnothorax kidako</i>	1
メジロザメ科 Carcharinidae		ユリウツボ <i>Gymnothorax prionodon</i>	1
イタチザメ <i>Galeocerdo cuvier</i>	1	ニセゴイシウツボ <i>Gymnothorax isingteena</i>	1
ネムリブカ <i>Triaenodon obesus</i>	5	ヘリゴイシウツボ <i>Gymnothorax fimbriatus</i>	1
レモンザメ <i>Negaprion acutidens</i>	10	ホラアナゴ科 Synaphobranchidae	
ホウライザメ <i>Carchar inidae</i>	1	ヒレジロアナゴ <i>Meadia abyssalis</i>	4
オオメジロザメ <i>Carcharhinus leucas</i>	4	ウミヘビ科 Ophichthidae	
ヤジブカ <i>Carcharhinus plumbeus</i>	11	スソウミヘビ <i>Ophichthus urolophus</i>	1

和名 学名		和名 学名	
アナゴ科 Congridae		ウミテング科 Pegasidae	
クロアナゴ属の一種 <i>Conger</i> sp.	1	ウミテング <i>Eurypegusus draconis</i>	1
チンアナゴ <i>Heteroconger hassi</i>	193	ヤガラ科 Fistulariidae	
ニシキアナゴ <i>Gorgasia preclara</i>	10	アオヤガラ <i>Fistularia commersonii</i>	1
ニシン目 Clupeiformes		ヘコアユ科 Centriscidae	
ニシン科 Clupeidae		ヘコアユ <i>Aeoliscus strigatus</i>	136
ミズン <i>Herklotsichthys quadrimaculatus</i>	2,183	ヨウジウオ科 Syngnathidae	
ネズミギス目 Gonorynchiformes		オイランヨウジ <i>Doryrhamphus dactyliophorus</i>	1
サバヒ科 Chanidae		クロウミウマ <i>Hippocampus kuda</i>	13
サバヒ <i>Chanos chanos</i>	1	ボラ目 Mugiliformes	
コイ目 Cypriniformes		ボラ科 Mugilidae	
コイ科 Cyprinidae		オニボラ <i>Ellochelon vaigiensis</i>	8
フナ属の仲間 <i>Carassius</i> spp.	13	カダヤシ目 Cyprinodontiformes	
パールダニオ <i>Brachydanio albolineatus</i>	37	カダヤシ科 Poeciliidae	
ゼブラダニオ <i>Brachydanio rerio</i>	32	ソードテール <i>Xiphophorus helleri</i>	12
アカヒレ <i>Tanichthys albonubes</i>	22	ダツ目 Beloniformes	
ドジョウ科 Cobitidae		メダカ科 Adrianichthyidae	
ドジョウ <i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	2	ミナメダカ <i>Oryzias latipes</i>	167
ナマズ目 Siluriformes		スズキ目 Perciformes	
ナマズ科 Clariidae		メバル科 Sebastidae	
ヒレナマズ <i>Clarias fuscus</i>	1	ユメカサゴ <i>Helicolenus hilgendorfi</i>	1
ゴンズイ科 Plotosidae		フサカサゴ科 Scorpaenidae	
ゴンズイ <i>Plotosus japonicus</i>	464	ハナミノカサゴ <i>Pterois volitans</i>	6
サケ目 Salmoniformes		ネツタイミノカサゴ <i>Pterois antennata</i>	1
アユ科 Plecoglossidae		キリンミノ <i>Dendrochirus zebra</i>	3
リュウキュウアユ <i>Plecoglossus altivelis ryukyuensis</i>	125	シマヒメヤマノカミ <i>Dendrochirus brachypterus</i>	1
ヒメ目 Aulopiformes		オニカサゴ <i>Scorpaenopsis cirrosa</i>	1
ヒメ科 Aulopidae		ニライカサゴ <i>Scorpaenopsis diabolus</i>	1
ハタタテヒメ <i>Aulopus</i> sp.	2	サツマカサゴ <i>Scorpaenopsis neglecta</i>	3
アンコウ目 Lophiiformes		イズカサゴ <i>Scorpaena neglecta</i>	1
カエルアンコウ科 Antennariidae		ハオコゼ科 Tetrarogidae	
イロカエルアンコウ <i>Antennarius pictus</i>	2	ツマジロオコゼ <i>Ablabys taenianotus</i>	1
キンメダイ目 Beryciformes		オニオコゼ科 Synanceiidae	
イトウダイ科 Holocentridae		オニダルマオコゼ <i>Synanceia verrucosa</i>	6
クラカケエビス <i>Sargocentron caudimaculatum</i>	2	ヒレナガカサゴ科 Neosebastidae	
スミツキカノコ <i>Sargocentron melanospilus</i>	8	ヒレナガカサゴ <i>Neosebastes entaxis</i>	3
アヤメエビス <i>Sargocentron rubrum</i>	4	ゴチ科 Playcephalidae	
テリエビス <i>Sargocentron itodai</i>	5	エンマゴチ <i>Cymbacephalus beauforti</i>	1
ウケグチイトウダイ <i>Neoniphon sammara</i>	6	セミホウボウ科 Dactylopteridae	
ヒレグロイトウダイ <i>Neoniphon opercularis</i>	2	セミホウボウ <i>Dactyloptena orientalis</i>	1
エビスダイ <i>Ostichthys japonicus</i>	2	ホタルジャコ科 Acropomatidae	
カイエビス <i>Ostichthys kaianus</i>	2	ナガオオメハタ <i>Malakichthys elegans</i>	1
ベニマツカサ <i>Myripristis vittata</i>	1	ハタ科 Serranidae	
クロオビマツカサ <i>Myripristis kuntee</i>	10	アカイサキ <i>Caprodon schlegelii</i>	2
キビレマツカサ <i>Myripristis chryseres</i>	2	ニシキハナダイ <i>Plectranthias sagamiensis</i>	1
ツマリマツカサ <i>Myripristis greenfieldi</i>	5	スミツキハナダイ属の一種 <i>Plectranthias sagamiensis</i>	1
アカマツカサ <i>Myripristis berndti</i>	61	バラハナダイ <i>Odontanthias katayamai</i>	6
ヒウチダイ科 Trachichthyidae		マダラハナダイ <i>Odontanthias borbonius</i>	19
ハシキンメ <i>Gephyroberyx japonicus</i>	8	サクラダイ <i>Sacura margaritacea</i>	2
マツカサウオ科 Monocentridae		キンギョハナダイ <i>Pseudanthias squamipinnis</i>	283
マツカサウオ <i>Monocentris japonica</i>	17	アカネハナゴイ <i>Pseudanthias dispar</i>	192
マツカサウオ科の一種 <i>Cleidopus gloriamaris</i>	13	ハナゴイ <i>Pseudanthias pascalus</i>	215
ヒカリキンメ科 Anomalopidae		スジアラ <i>Plectropomus leopardus</i>	2
ヒカリキンメダイ <i>Anomalops katoptron</i>	88	コクハンアラ <i>Plectropomus laevis</i>	1
タウナギ目 Synbranchiformes		バラハタ <i>Variola louti</i>	1
タウナギ科 Synbranchidae		アオノメハタ <i>Cephalopholis argus</i>	1
タウナギ <i>Monopterus albus</i>	5	シマハタ <i>Cephalopholis igarashiensis</i>	1
トゲウオ目 Gasterosteiformes		ニジハタ <i>Cephalopholis urodeta</i>	22

和名 学名		和名 学名	
アザハタ <i>Cephalopholis sonnerati</i>	3	イケカツオ <i>Scomberoides lysan</i>	3
ユカタハタ <i>Cephalopholis miniata</i>	1	マルコバン <i>Trachinoctes blochii</i>	8
タマカイ <i>Epinephelus lanceolatus</i>	3	ムロアジ <i>Decapterus muroadsi</i>	28
アカハタモドキ <i>Epinephelus retouti</i>	1	メアジ <i>Selar crumenophthalmus</i>	33
ツチホゼリ <i>Epinephelus cyanopodus</i>	1	ホソヒラアジ <i>Selaroides leptolepis</i>	38
ホウキハタ <i>Epinephelus morrhua</i>	3	マブタシマアジ <i>Alepes vari</i>	18
ナミハタ <i>Epinephelus ongus</i>	1	イトヒキアジ <i>Alectis ciliaris</i>	13
アカハタ <i>Epinephelus fasciatus</i>	16	ウマヅラアジ <i>Alectis indica</i>	3
クエ <i>Epinephelus bruneus</i>	1	カスミアジ <i>Caranx melampygus</i>	51
カスリハタ <i>Epinephelus tukula</i>	2	ギンガメアジ <i>Caranx sexfasciatus</i>	33
ヤイトハタ <i>Epinephelus malabaricus</i>	1	ロウニンアジ <i>Caranx ignobilis</i>	18
チャイロマルハタ <i>Epinephelus coioides</i>	1	オニヒラアジ <i>Caranx papuensis</i>	13
シロブチハタ <i>Epinephelus maculatus</i>	3	インドオキアジ <i>Uraspis uraspis</i>	2
カンモンハタ <i>Epinephelus merra</i>	9	コガネシマアジ <i>Gnathanodon speciosus</i>	29
ルリハタ <i>Aulacocephalus temmincki</i>	1	シマアジ <i>Pseudocaranx dentex</i>	4
キハツク <i>Diploprion bifasciatum</i>	6	イトヒラアジ <i>Carangichthys dinema</i>	2
トゲハナスズキ <i>Liopropoma japonicum</i>	1	インドカイワリ <i>Carangoides plagiotænia</i>	1
バラスズキ <i>Liopropoma aragai</i>	2	クロヒラアジ <i>Carangoides ferdau</i>	1
アゴハタ <i>Pogonoperca punctata</i>	4	ナンヨウカイワリ <i>Carangoides orthogrammus</i>	1
メギス科 <i>Pseudochromidae</i>		ホシカイワリ <i>Carangoides fulvoguttatus</i>	8
メギス <i>Labracinus cyclophthalmus</i>	2	リュウキュウヨロイアジ <i>Carangoides hedlandensis</i>	46
リュウキュウニセスズメ <i>Pseudochromis cyanotaenia</i>	1	マルヒラアジ <i>Carangoides coeruleopinnatus</i>	5
タナバタウオ科 <i>Plesiopidae</i>		ハチビキ科 <i>Emmelichthyidae</i>	
シモフリタナバタウオ <i>Callopleysiops altivelis</i>	1	ハチビキ <i>Erythrocles schlegelii</i>	6
チョウセンバカマ科 <i>Banjosidae</i>		フエダイ科 <i>Lutjanidae</i>	
チョウセンバカマ <i>Banjos banjos</i>	1	マダラタルミ <i>Macolor niger</i>	2
キントキダイ科 <i>Pricanthidae</i>		ロクセンフエダイ <i>Lutjanus quinquelineatus</i>	4
チカメキントキ <i>Cookeolus japonicus</i>	3	ヨスジフエダイ <i>Lutjanus kasmira</i>	344
ホウセキキントキ <i>Pricanthus hamrur</i>	2	ゴマフエダイ <i>Lutjanus argentimaculatus</i>	1
オキナワクルマダイ <i>Pristigenys meyeri</i>	1	タテフエダイ <i>Lutjanus vitta</i>	1
クルマダイ <i>Pristigenys nipponia</i>	1	アミメフエダイ <i>Lutjanus decussatus</i>	1
ミナミクルマダイ <i>Pristigenys refulgens</i>	1	フエダイ <i>Lutjanus stellatus</i>	1
テンジクダイ科 <i>Apogonidae</i>		ヒメフエダイ <i>Lutjanus gibbus</i>	48
ホソスジマンジュウイシモチ <i>Sphaeramia orbicularis</i>	26	センネンダイ <i>Lutjanus sebae</i>	2
リュウキュウヤライイシモチ <i>Cheilodipterus macrodon</i>	1	バラフエダイ <i>Lutjanus bohar</i>	2
アトヒキテンジクダイ <i>Archamia macroptera</i>	400	イッテンフエダイ <i>Lutjanus monostigma</i>	1
イトヒキテンジクダイ <i>Zoramia leptacantha</i>	110	オキフエダイ <i>Lutjanus fulvus</i>	1
ウスモモテンジクダイ <i>Zoramia viridiventer</i>	30	イトヒキフエダイ <i>Symphorus nematophorus</i>	1
サンギレイシモチ <i>Apogon sangiensis</i>	14	ハチジョウアカムツ <i>Etelis carbunculus</i>	6
キンセンイシモチ <i>Apogon properuptus</i>	2	ハマダイ <i>Etelis coruscans</i>	15
オオスジイシモチ <i>Apogon doederleini</i>	1	オオクチハマダイ <i>Etelis radiosus</i>	2
キツネアマダイ科 <i>Malacanthidae</i>		アオチビキ <i>Aprion virescens</i>	5
ヤセアマダイ <i>Malacanthus brevisrostris</i>	2	シマアオダイ <i>Paracaesio kusakarii</i>	2
オキナワサンゴアマダイ <i>Hoplolatilus cuniculus</i>	1	アオダイ <i>Paracaesio caerulea</i>	2
ムツ科 <i>Scombroidae</i>		ウメイロ <i>Paracaesio xanthura</i>	3
ムツ <i>Scombrops boops</i>	3	ハナフエダイ <i>Pristipomoides argyrogrammicus</i>	4
クロムツ <i>Scombrops gilberti</i>	14	ヒメダイ <i>Pristipomoides sieboldii</i>	14
コバンザメ科 <i>Echeneidae</i>		タカサゴ科 <i>Caesionidae</i>	
コバンザメ <i>Echeneis naucrates</i>	1	ササムロ <i>Caesio caeruleaurea</i>	115
スギ科 <i>Rachycentridae</i>		ユメウメイロ <i>Caesio cuning</i>	85
スギ <i>Rachycentron canadum</i>	2	ウメイロモドキ <i>Caesio teres</i>	703
シイラ科 <i>Coryphaenidae</i>		クマササハナムロ <i>Pterocaesio tile</i>	420
シイラ <i>Coryphaena hippurus</i>	3	イッセンタカサゴ <i>Pterocaesio trilineata</i>	1
ギンカガミ科 <i>Menidae</i>		タカサゴ <i>Pterocaesio digramma</i>	2,456
ギンカガミ <i>Mene maculata</i>	2	マツダイ科 <i>Lobotidae</i>	
アジ科 <i>Carangidae</i>		マツダイ <i>Lobotes surinamensis</i>	1
ツムブリ <i>Elagatis bipinnulata</i>	28	イサキ科 <i>Haemulidae</i>	
カンパチ <i>Seriola dumerili</i>	4	コロダイ <i>Diagramma pictum</i>	1

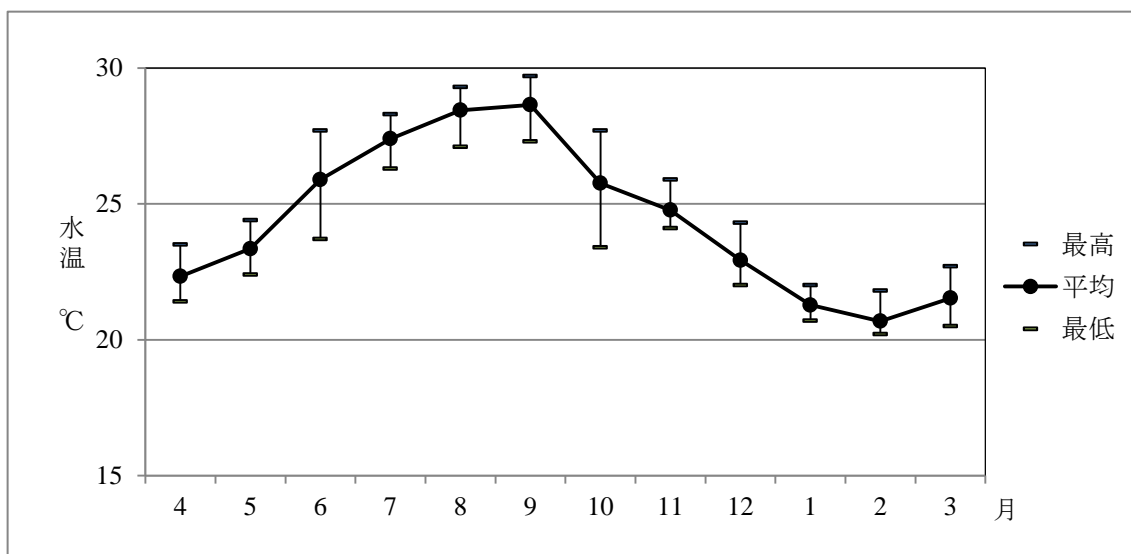
和名 学名		和名 学名	
チョウチョウコシヨウダイ <i>Plectorhinchus chaetodonoides</i>	2	カガミチョウチョウウオ <i>Chaetodon argentatus</i>	2
アヤコシヨウダイ <i>Plectorhinchus lineatus</i>	1	フウライチョウチョウウオ <i>Chaetodon vagabundus</i>	31
ヒレグロコシヨウダイ <i>Plectorhinchus lessonii</i>	3	ミスジチョウチョウウオ <i>Chaetodon lunulatus</i>	10
イトヨリダイ科 Nemipteridae		ニセフウライチョウチョウウオ <i>Chaetodon lineolatus</i>	5
キツネウオ <i>Pentapodus caninus</i>	5	ハナグロチョウチョウウオ <i>Chaetodon ornatissimus</i>	2
イトタマガシラ <i>Pentapodus nagasakiensis</i>	1	アケボノチョウチョウウオ <i>Chaetodon melannotus</i>	2
モモイトヨリ <i>Nemipterus furcosus</i>	2	アミチョウチョウウオ <i>Chaetodon rafflesi</i>	2
タマガシラ <i>Parasclopsis inermis</i>	1	チョウチョウウオ <i>Chaetodon auripes</i>	36
アカタマガシラ <i>Parasclopsis eriomma</i>	1	クラカケチョウチョウウオ <i>Chaetodon adiergastos</i>	1
フタスジタマガシラ <i>Scolopsis bilineata</i>	5	ミゾレチョウチョウウオ <i>Chaetodon kleinii</i>	7
ヨコシマタマガシラ <i>Scolopsis lineata</i>	2	ベニチョウチョウウオ <i>Chaetodon mertensii</i>	1
タイ科 Sparidae		キンチャウダイ科 Pomacanthidae	
タイワンダイ <i>Argyrops bleekeri</i>	1	ロクセンヤッコ <i>Pomacanthus sexstriatus</i>	1
フエキダイ科 Lethrinidae		アデヤッコ <i>Pomacanthus xanthometopon</i>	2
ノコギリダイ <i>Gnathodentex aureolineatus</i>	18	サザナミヤッコ <i>Pomacanthus semicirculatus</i>	3
ヨコシマクロダイ <i>Monotaxis grandoculis</i>	3	チリメンヤッコ <i>Chaetodontoplus mesoleucus</i>	1
シロダイ <i>Gymnocranius euanus</i>	3	ニシキヤッコ <i>Pygoplites diacanthus</i>	2
タマメイチ <i>Gymnocranius</i> sp.	7	ヘラルドコガネヤッコ <i>Centropyge heraldi</i>	2
メイチダイ <i>Gymnocranius griseus</i>	4	レンテンヤッコ <i>Centropyge interrupta</i>	1
イトフエフキ <i>Lethrinus genivittatus</i>	1	タテジマヤッコ <i>Genicanthus lamarck</i>	1
ハマフエフキ <i>Lethrinus nebulosus</i>	21	ヒレナガヤッコ <i>Genicanthus watanabei</i>	1
ハナフエフキ <i>Lethrinus ornatus</i>	1	カワビシャ科 Pentacerotidae	
キツネフエフキ <i>Lethrinus olivaceus</i>	5	ツボダイ <i>Pentaceros japonicus</i>	16
オオフエフキ <i>Lethrinus microdon</i>	2	ゴンベ科 Cirrhitidae	
ホオアカクチビ <i>Lethrinus rubrioperculatus</i>	27	ミナミゴンベ <i>Cirrhitichthys aprinus</i>	1
ヒメジ科 Mullidae		サラサゴンベ <i>Cirrhitichthys falco</i>	1
アカヒメジ <i>Mulloidichthys vanicolensis</i>	4	メガネゴンベ <i>Paracirrhites arcatus</i>	5
インドヒメジ <i>Parupeneus barberinoides</i>	1	ホシゴンベ <i>Paracirrhites forsteri</i>	3
オジサン <i>Parupeneus multifasciatus</i>	46	クダゴンベ <i>Oxycirrhites typus</i>	1
リュウキュウヒメジ <i>Parupeneus pleurostigma</i>	16	タカノハダイ科 Cheilodactylidae	
タカサゴヒメジ <i>Parupeneus heptacanthus</i>	3	タカノハダイ <i>Goniistius zonatus</i>	4
ハタンボ科 Pempheridae		カワスズメ科 Cichlidae	
キンメモドキ <i>Parapriacanthus ransonneti</i>	511	カワスズメ <i>Oreochromis mossambicus</i>	1
ツマグロハタンボ <i>Pempheris japonica</i>	390	ジルトイラピア <i>Tilapia zillii</i>	1
ミナミハタンボ <i>Pempheris schwenkii</i>	457	コンビクトシクリッド <i>Amatitlania nigrofasciata</i>	7
ハタンボ属の一種 <i>Pempheris</i> sp.	213	スズメダイ科 Pomacentridae	
ヒメツバメウオ科 Monodactylidae		ハナビラクマノミ <i>Amphiprion perideraion</i>	5
ヒメツバメウオ <i>Monodactylus argenteus</i>	18	ハマクマノミ <i>Amphiprion frenatus</i>	41
テッポウウオ科 Toxotidae		カクレクマノミ <i>Amphiprion ocellaris</i>	8
テッポウウオ <i>Toxotes jaculatrix</i>	2	クマノミ <i>Amphiprion clarkii</i>	1
チョウチョウウオ科 Chaetodontidae		トウアカクマノミ <i>Amphiprion polymnus</i>	95
ツノハタタテダイ <i>Heniochus varius</i>	1	キホシスズメダイ <i>Chromis flavomaculatus</i>	193
ミナミハタタテダイ <i>Heniochus chrysostomus</i>	8	トウカイスズメダイ <i>Chromis mirationis</i>	3
オニハタタテダイ <i>Heniochus monoceros</i>	4	アマミスズメダイ <i>Chromis chrysurus</i>	33
シマハタタテダイ <i>Heniochus singularius</i>	1	デバスズメダイ <i>Chromis viridis</i>	1,426
ハタタテダイ <i>Heniochus acuminatus</i>	6	アオバスズメダイ <i>Chromis atripectoralis</i>	71
ムレハタタテダイ <i>Heniochus diphreutes</i>	7	タカサゴスズメダイ <i>Chromis weberi</i>	12
フエヤッコダイ <i>Forcipiger flavissimus</i>	10	フタスジリュウキュウスズメダイ <i>Dascyllus reticulatus</i>	11
カスミチョウチョウウオ <i>Hemitaenichthys polylepis</i>	18	ミスジリュウキュウスズメダイ <i>Dascyllus aruanus</i>	148
ヤリカタギ <i>Chaetodon trifascialis</i>	6	オキナワスズメダイ <i>Pomachromis richardsoni</i>	109
スミツキトノサマダイ <i>Chaetodon plebeius</i>	11	イワサキスズメダイ <i>Plectroglyphidodon imparipennis</i>	11
セグロチョウチョウウオ <i>Chaetodon ephippium</i>	4	ルリホシスズメダイ <i>Plectroglyphidodon lacrymatus</i>	1
トゲチョウチョウウオ <i>Chaetodon auriga</i>	16	シマスズメダイ <i>Abudefduf sordidus</i>	2
イッテンチョウチョウウオ <i>Chaetodon unimaculatus</i>	1	ロクセンスズメダイ <i>Abudefduf sexfasciatus</i>	61
トノサマダイ <i>Chaetodon speculum</i>	2	オヤビッチャ <i>Abudefduf vaigiensis</i>	16
ミカドチョウチョウウオ <i>Chaetodon baronessa</i>	3	セナキルリスズメダイ <i>Chrysiptera starcki</i>	10
チョウハン <i>Chaetodon lunula</i>	3	レモンズズメダイ <i>Chrysiptera rex</i>	3
ハクテンカタギ <i>Chaetodon reticulatus</i>	2	ルリスズメダイ <i>Chrysiptera cyanea</i>	311

和名 学名		和名 学名	
クラカオスズメダイ <i>Amblyglyphidodon curacao</i>	309	オビブダイ <i>Scarus schlegeli</i>	16
リボンスズメダイ <i>Neopomacentrus tlaeniurus</i>	7	オウムブダイ <i>Scarus psittacus</i>	3
アサドスズメダイ <i>Pomacentrus lepidogenys</i>	50	オオモンハゲブダイ <i>Chlorurus bowersi</i>	2
メガネスズメダイ <i>Pomacentrus bankanensis</i>	1	ハゲブダイ <i>Chlorurus sordidus</i>	37
ニセネツタイスズメダイ <i>Pomacentrus amboinensis</i>	18	ナンヨウブダイ <i>Chlorurus microrhinos</i>	10
クロソラスズメダイ <i>Stegastes nigricans</i>	1	ツキノワブダイ <i>Scarus festivus</i>	1
ユゴイ科 <i>Kuhliidae</i>		アミメブダイ <i>Scarus frenatus</i>	1
ギンユゴイ <i>Kuhlia mugil</i>	24	イチモンジブダイ <i>Scarus forsteni</i>	6
オオクチュゴイ <i>Kuhlia rupestris</i>	3	スジブダイ <i>Scarus rivulatus</i>	2
メジナ科 <i>Girellidae</i>		ヒブダイ <i>Scarus ghobban</i>	4
オキナメジナ <i>Girella mekina</i>	4	トラギス科 <i>Pinguipedidae</i>	
イボダイ科 <i>Centrolophidae</i>		オグロトラギス <i>Parapercis pacifica</i>	8
メダイ <i>Hyperoglyphe japonica</i>	2	ヨツメトラギス <i>Parapercis clathrata</i>	1
ツバメコノシロ科 <i>Polynemidae</i>		イツギンボ科 <i>Blenniidae</i>	
ツバメコノシロ <i>Polydactylus plebeius</i>	3	イシガキカエルウオ <i>Ecsenius yaeyamaensis</i>	1
ベラ科 <i>Labridae</i>		ハタタテギンボ <i>Petroscirtes mitratus</i>	1
シロクラベラ <i>Choerodon schoenleinii</i>	2	オウゴンニジギンボ <i>Meiacanthus atrodorsalis</i>	1
アカホシキツネベラ <i>Bodianus rubrisos</i>	2	カモハラギンボ <i>Meiacanthus kamoharai</i>	5
ヒレグロベラ <i>Bodianus loxozonus</i>	3	ツバサハゼ科 <i>Rhyacichthyidae</i>	
キツネダイ <i>Bodianus oxycephalus</i>	2	ツバサハゼ <i>Rhyacichthys aspro</i>	2
タキベラ <i>Bodianus perditio</i>	2	カワアナゴ科 <i>Eleotridae</i>	
キツネベラ <i>Bodianus bilunulatus</i>	2	タナゴモドキ <i>Hypseleotris cyprinoides</i>	60
ムシベラ <i>Anampses geographicus</i>	1	タメトモハゼ <i>Ophieleotris</i> sp.1	6
ブチススキベラ <i>Anampses caeruleopunctatus</i>	1	ゴシキタメトモハゼ <i>Ophieleotris</i> sp.2	1
カマスベラ <i>Cheilio inermis</i>	1	ホシマダラハゼ <i>Ophiocara porocephala</i>	2
クギベラ <i>Gomphosus varius</i>	2	ハゼ科 <i>Gobiidae</i>	
タレクチベラ <i>Hemigymnus melapterus</i>	2	ヨロイボウズハゼ <i>Lentipes armatus</i>	4
シマタレクチベラ <i>Hemigymnus fasciatus</i>	2	カエルハゼ <i>Sicyopus leprurus</i>	1
ホンソメワケベラ <i>Labroides dimidiatus</i>	93	アカボウズハゼ <i>Sicyopus zosterophorus</i>	4
クロベラ <i>Labrichthys unilineatus</i>	2	ルリボウズハゼ <i>Sicyopterus lagocephalus</i>	3
カミナリベラ <i>Stethojulis interrupta terina</i>	1	ナンヨウボウズハゼ <i>Stiphodon percnopterygionus</i>	2
ヤンセンニシキベラ <i>Thalassoma janseni</i>	32	コンテリボウズハゼ <i>Stiphodon atropurpureus</i>	1
セナスジベラ <i>Thalassoma hardwicke</i>	26	サラサハゼ <i>Amblygobius phalaena</i>	3
ヤマブキベラ <i>Thalassoma lutescens</i>	32	キイロサンゴハゼ <i>Gobiodon okinawae</i>	3
オトメベラ <i>Thalassoma lunare</i>	6	ミツボシゴマハゼ <i>Pandaka trimaculata</i>	336
ムナテンベラ <i>Halichoeres melanochir</i>	3	スナゴハゼ <i>Pseudogobius javanicus</i>	3
カノコベラ <i>Halichoeres marginatus</i>	2	ヒラヨシノボリ <i>Rhinogobius</i> sp. DL	8
カザリキュウセン <i>Halichoeres melanurus</i>	2	アカハチハゼ <i>Valenciennea strigata</i>	6
カンムリベラ <i>Coris aygula</i>	3	クロユリハゼ科 <i>Ptereleotridae</i>	
ムスメベラ <i>Coris picta</i>	1	クロユリハゼ <i>Ptereleotris evides</i>	13
シチセムムスメベラ <i>Coris variegata</i>	2	イトマンクロユリハゼ <i>Ptereleotris microlepis</i>	17
ツユベラ <i>Coris dorsomacula</i>	8	マンジュウダイ科 <i>Ephippidae</i>	
スジベラ <i>Hologymnosus doliatus</i>	1	アカククリ <i>Platax pinnatus</i>	1
シロタスキベラ <i>Hologymnosus doliatus</i>	19	ナンヨウツバメウオ <i>Platax orbicularis</i>	10
クロヘリイトヒキベラ <i>Cirrhilabrus cyanopleura</i>	41	ツバメウオ <i>Platax teira</i>	4
ギチベラ <i>Epibulus insidiator</i>	3	クロホシマンジュウダイ科 <i>Scatophagidae</i>	
ニセモチノウオ <i>Pseudocheilinus hexataenia</i>	1	クロホシマンジュウダイ <i>Scatophagus argus</i>	5
メガネモチノウオ <i>Cheilinus undulatus</i>	8	アイゴ科 <i>Siganidae</i>	
カタグロホスジモチノウオ <i>Oxycheilinus orinitalis</i>	1	ヒフキアイゴ <i>Siganus unimaculatus</i>	54
アカテンモチノウオ <i>Cheilinus chlorourus</i>	2	ゴマアイゴ <i>Siganus guttatus</i>	8
ホホスジモチノウオ <i>Oxycheilinus digramma</i>	8	ヒメアイゴ <i>Siganus virgatus</i>	34
ヤシヤベラ <i>Cheilinus fasciatus</i>	3	マジリアイゴ <i>Siganus puellus</i>	3
ホシテンス <i>Iniistius pavo</i>	4	ブチアイゴ <i>Siganus punctatus</i>	1
ブダイ科 <i>Scaridae</i>		サンゴアイゴ <i>Siganus corallinus</i>	5
ミソレブダイ <i>Leptoscarus vaiigiensis</i>	1	ツノダシ科 <i>Zanclidae</i>	
タイワンブダイ <i>Calotomus carolinus</i>	3	ツノダシ <i>Zanclus cornutus</i>	19
カンムリブダイ <i>Bolbometopon muricatum</i>	3	ニザダイ科 <i>Acanthuridae</i>	
イロブダイ <i>Cetoscarus bicolor</i>	7	テングハギ <i>Naso unicornis</i>	6

和名 学名		和名 学名	
ヒメテングハギ <i>Naso annulatus</i>	4	テングカワハギ <i>Oxymonacanthus longirostris</i>	14
オニテングハギ <i>Naso brachycentron</i>	1	ソウシハギ <i>Aluterus scriptus</i>	4
サザナミトサカハギ <i>Naso vlamingii</i>	4	フチドリカワハギ <i>Acreichthys tomentosus</i>	1
ミヤコテングハギ <i>Naso lituratus</i>	3	ハコフグ科 Ostraciidae	
テングハギモドキ <i>Naso hexacanthus</i>	39	コンゴウフグ <i>Lactoria diaphana</i>	1
ヒレナガハギ <i>Zebrasoma veliferum</i>	11	ウミスズメ <i>Lactoria cornuta</i>	3
ゴマハギ <i>Zebrasoma scopas</i>	20	シマウミスズメ <i>Lactoria fornasini</i>	1
キイロハギ <i>Zebrasoma flavescens</i>	4	テングハコフグ <i>Ostracion rhinorhynchus</i>	1
ナンヨウハギ <i>Paracanthurus hepatus</i>	9	クロハコフグ <i>Ostracion meleagris</i>	2
サザナミハギ <i>Ctenochaetus striatus</i>	10	ミナミハコフグ <i>Ostracion cubicus</i>	2
シマハギ <i>Acanthurus triostegus</i>	11	ウチワフグ科 Triodontidae	
アカツキハギ <i>Acanthurus achilles</i>	2	ウチワフグ <i>Triodon macropterus</i>	1
ナガニザ <i>Acanthurus nigrofuscus</i>	34	フグ科 Tetraodontidae	
ニジハギ <i>Acanthurus lineatus</i>	3	シマキンチャクフグ <i>Canthigaster valentini</i>	1
クログチニザ <i>Acanthurus pyroferus</i>	4	シボリキンチャクフグ <i>Canthigaster janthinoptera</i>	1
ナミダクロハギ <i>Acanthurus japonicus</i>	1	ケショウフグ <i>Arothron mappa</i>	1
モンツキハギ <i>Acanthurus olivaceus</i>	22	サザナミフグ <i>Arothron hispidus</i>	7
クロモンツキ <i>Acanthurus nigricauda</i>	1	ワモンフグ <i>Arothron reticularis</i>	1
ニセカンランハギ <i>Acanthurus dussumieri</i>	8	コクテンフグ <i>Arothron nigropunctatus</i>	1
クロハギ <i>Acanthurus xanthopterus</i>	2	ハリセンボン科 Diodontidae	
オスジクロハギ <i>Acanthurus blochii</i>	1	ハリセンボン <i>Diodon holocanthus</i>	13
カマス科 Sphyrnaeidae		ヒトヅラハリセンボン <i>Diodon liturosus</i>	2
オオカマス <i>Sphyrna putnamae</i>	1	ネズミフグ <i>Diodon hystrix</i>	1
ナガタチカマス <i>Thyrsoidea marleyi</i>	1	両生綱 Amphibia	
サバ科 Scombridae		イモリ目 Caudata	
グルクマ <i>Rastrelliger kanagurta</i>	1,081	イモリ科 Salamandridae	
ヒラソウダ <i>Auxis thazard thazard</i>	1	シリケンイモリ <i>Cynops ensicauda</i>	7
イソマグロ <i>Gymnosarda unicolor</i>	5	カエル目 Anura	
クロマグロ <i>Thunnus orientalis</i>	7	アオガエル科 Rhacophoridae	
キハダ <i>Thunnus albacares</i>	142	オキナワアオガエル <i>Rhacophorus viridis viridis</i>	4
スマ <i>Euthynnus affinis</i>	20	竜弓綱 Sauropsida	
カツオ <i>Katsuwonus pelamis</i>	35	カメ目 Testudinata	
ヨコシマサワラ <i>Scomberomorus commerson</i>	1	ヌマガメ科 Emydidae	
ゴクラクギョ科 Belontiidae		ミシシッピアカミミガメ <i>Trachemys scripta elegans</i>	2
タイワンキンギョ <i>Macropodus opercularis</i>	21	有鱗目 Squamata	
フグ目 Tetraodontiformes		コブラ科 Elapidae	
モンガラカワハギ科 Balistidae		エラブウミヘビ <i>Laticauda semifasciata</i>	1
アカモンガラ <i>Odonus niger</i>	19	哺乳綱 Mammalia	
クロモンガラ <i>Melichthys vidua</i>	2	鯨目 Cetacea	
キハリモンガラ <i>Pseudobalistes flavimarginatus</i>	1	マイルカ科 Delphinidae	
ゴマモンガラ <i>Balistoides viridescens</i>	1	マダライルカ <i>Stenella attenuata</i>	2
モンガラカワハギ <i>Balistoides conspicillus</i>	2		
ツマジロモンガラ <i>Sufflamen chrysopterus</i>	1	植物界 Plantae	
ムスメハギ <i>Sufflamen bursa</i>	2	維管束植物門 Tracheophyta	
クマドリ <i>Balistapus undulatus</i>	3	被子植物綱 Magnoliopsida	
ムラサメモンガラ <i>Rhinecanthus aculeatus</i>	3	オモダカ目 Magnoliophyta	
ホシモンガラ <i>Xanthichthys auromarginatus</i>	1	トチカガミ科 Hydrocharitaceae	
カワハギ科 Monacanthidae		ウミシヨウブ <i>Enhalus acoroides</i>	30
ノギリハギ <i>Paraluteres prionurus</i>	1		

(2) 取水海水温 Annual water temperature

平成 26 年度



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
最高	23.5	24.4	27.7	28.3	29.3	29.7	27.7	25.9	24.3	22.0	21.8	22.7
平均	22.3	23.3	25.9	27.4	28.4	28.6	25.7	24.7	22.9	21.2	20.6	21.5
最低	21.4	22.4	23.7	26.3	27.1	27.3	23.4	24.1	22.0	20.7	20.2	20.5

年平均 水温 : 24.3°C pH : 8.3 比重 : 26.44

(3) 水槽規格 Tank dimension

水族館

補給水：取水濾過海水 換水率：回/日

水槽	水槽寸法(m)			水量(m ³)			補給水		濾過循環		総換水	
	幅	奥行	水深	水量	数	総水量	m ³ /時	換水率	m ³ /時	換水率	m ³ /時	換水率
サンゴ礁への旅												
タッチプール	10	3.3	0.3	9.5	1	9.5	9.5	24			9.5	24
サンゴの海	7.5	15	3 - 3.5	300	1	300	300	24			300	24
熱帯魚の海	10.5	16.5	2.5 - 6.6	700	1	700	300	10.2	350	12	650	22.2
個水槽	1.7	1.5	2.9	6.6	1	6.6	6.6	24			6.6	24
〃	5.5	2.8	1.9	35.6	1	35.6	0	0	35.6	24	35.6	24
〃	1.5	1.2	1.9	3.2	4	12.8	3.2	24			3.2	24
〃	1.4	1.5	1.9	3.9	6	23.4	3.9	24			3.9	24
〃	0.5	0.4	0.6	0.1	18	1.8	0.3	24			0.1	24
サンゴの部屋	0.6	0.6	0.6	0.2	7	1.4	0.2	24			0.2	24
水辺の生き物	0.6	0.6	0.8	0.3	5	1.5	0.3	24			0.3	24
〃	0.6	0.9	0.2	0.1	3	0.3	0.1	24			0.1	24
〃	0.8	0.9	0.7	0.5	1	0.5	0.5	24			0.5	24
〃	1	0.9	1.1	1	1	1	1	24			1	24
〃	1.6/1.1	0.9	0.8	0.8	1	0.8	0.8	24			0.8	24
黒潮への旅												
黒潮の海	35	27	10	7,500	1	7,500	1,250	4	3,750	12	5,000	16
危険ザメの海	15	15	4.2	800	1	800	130	4	400	12	530	16
深海への旅												
個水槽	4.4	2.1	2.6	24	1	24	4	4	24	24	28	28
〃	1.3	1.4	1.9	3.4	4	13.6	2.3	4	13.52	24	16	28
〃	0.5	0.4	0.6	0.1	15	1.5	0.4	4	4.58	50	5	54
深層の海	10.3	8	3.6	230	1	230	38	4	300	24	338	28
海のプラネタリアム	1.5	1.3	1.3	2.4	3	7.2	1.2	4	7.2	24	8	28
合計					77	9,672	2,052					

蓄養棟

予備槽スペース:約 400m² 補給水：取水未濾過海水 換水率：回/日

水槽	形状	水槽寸法(m)			水量(m ³)			補給水		総換水	
		幅	奥行	水深	水量	数	総水量	m ³ /時	換水率	m ³ /時	換水率
1F コンクリート水槽	方形	11	9	2.5	250	1	250	120	12	120	12
	円形	10		3	240	1	240	120	12	120	12
	方形	5	5	1	25	3	75	25	24	25	24
2FFRP 水槽	方形	6	5	1	54	2	108	60	24	60	24
	方形	5	3	1.5	21	6	126	21	24	21	24
	方形	5	2	1	9	6	54	9	24	9	24

生け簀

網	形状	水量(m ³)	長径(m)	短径(m)	水深(m)	数
K-1	方形	9,000	20	30	15	1
K-2	方形	2,475	15	22	7.5	1
K-3	方形	4,950	15	22	15	1
M-1 - 4	円形	1,325	15	15	7.5	4

総水量：21,725m³ 囲い網：106×38×20m

主な水槽の亚克力パネル

水槽	幅(m)	高さ(m)	厚さ(cm)
サンゴの海 曲面	18.136	2.95	18
熱帯魚の海 曲面	7.105	3.49	18
平面	6.5	3.45	18
黒潮の海 正面	22.5	8.2	60
カフェ側	2.6	7.4	20
アクアarium 曲面	7.45	10.6	38
コーナー	3.3	2.87	10
美ら海シアター	6.4	3.45	20
水上観覧デッキ (強化ガラス)	3.75	3.75	3
危険ザメの海	4.3	3	15
深層の海	10.15	3.15	16

沖縄美ら海水族館年報 第11号 平成28年2月 印刷・発行

発行所 一般財団法人 沖縄美ら島財団
沖縄県国頭郡本部町字石川 888
電話 0980-48-3645 (代)

編集兼/発行人 花 城 良 廣

印刷所 沖縄高速印刷株式会社
沖縄県南風原町字兼城 577
電話 098-889-5513 (代)

